

Do SABAE

～ 行動しよう　　思いをカタチに ～

(案)

「(仮称) 鯖江市将来ビジョン」

※ J R 北陸本線の表記については、令和 6 年 3 月 16 日より、北陸新幹線福井・敦賀開業となるため、最終的には文章を含めて表記を見直します。

目 次

今回の範囲

1. 目的・役割
 2. ビジョンの位置づけ
 3. ビジョンの構成

- ## ビジョンとバリューズ

1. 市の現状と予測

2. 予測される社会の変化

III 地域のまちづくりビジョン 10

1. 地区のまちづくり
 2. 地区の概要
 3. 地区の特性
 4. 地域のまちづくりビジョン

IV 公共施設のあり方

1. 基本的な考え方
 2. 今後の取組方針

V 実現に向けて

・・・・・・・・・・・・・・・・

1. パートナーシップ
 2. フォローアップとレビュー
 3. ビジョンの活用（行政運営・行政経営の基本姿勢）

I はじめに

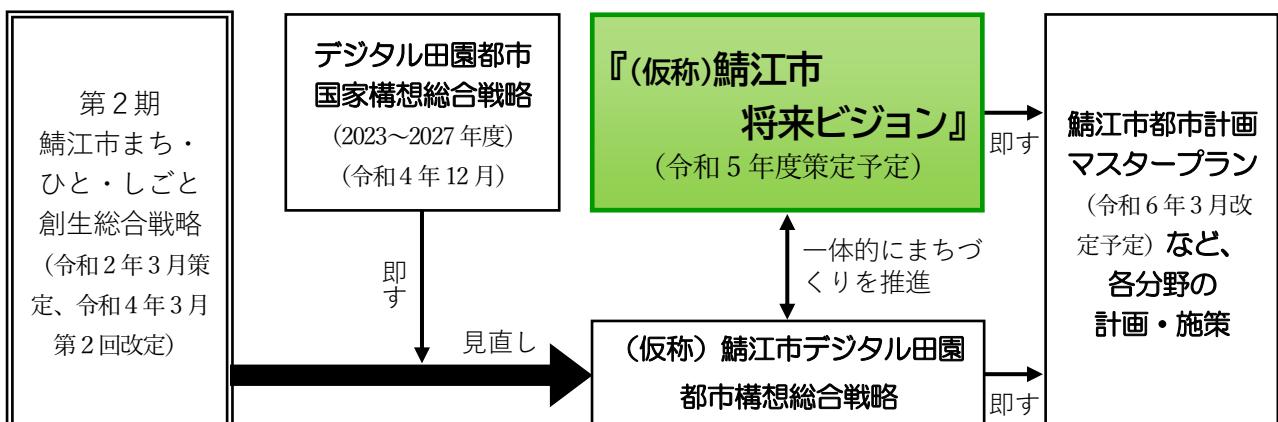
1. 目的・役割

- ◆地方自治体は、デジタル田園都市構想総合戦略を策定するに当たり、地域が抱える社会課題等を踏まえ、地域の個性や魅力を活かした「**地域ビジョン**」を再構築することが求められています。
- ◆このため、本市では、人口減少社会やデジタル社会の到来など、今後、大きく変革する時代を迎える中で、すべての市民が夢を描き、幸せを感じられる未来をつくるために、**2040年の展望を見据え**「地域ビジョン」として、「(仮称) 鯖江市将来ビジョン」を示します。
- ◆「(仮称) 鯖江市将来ビジョン」は、以下の3つの役割を有します。



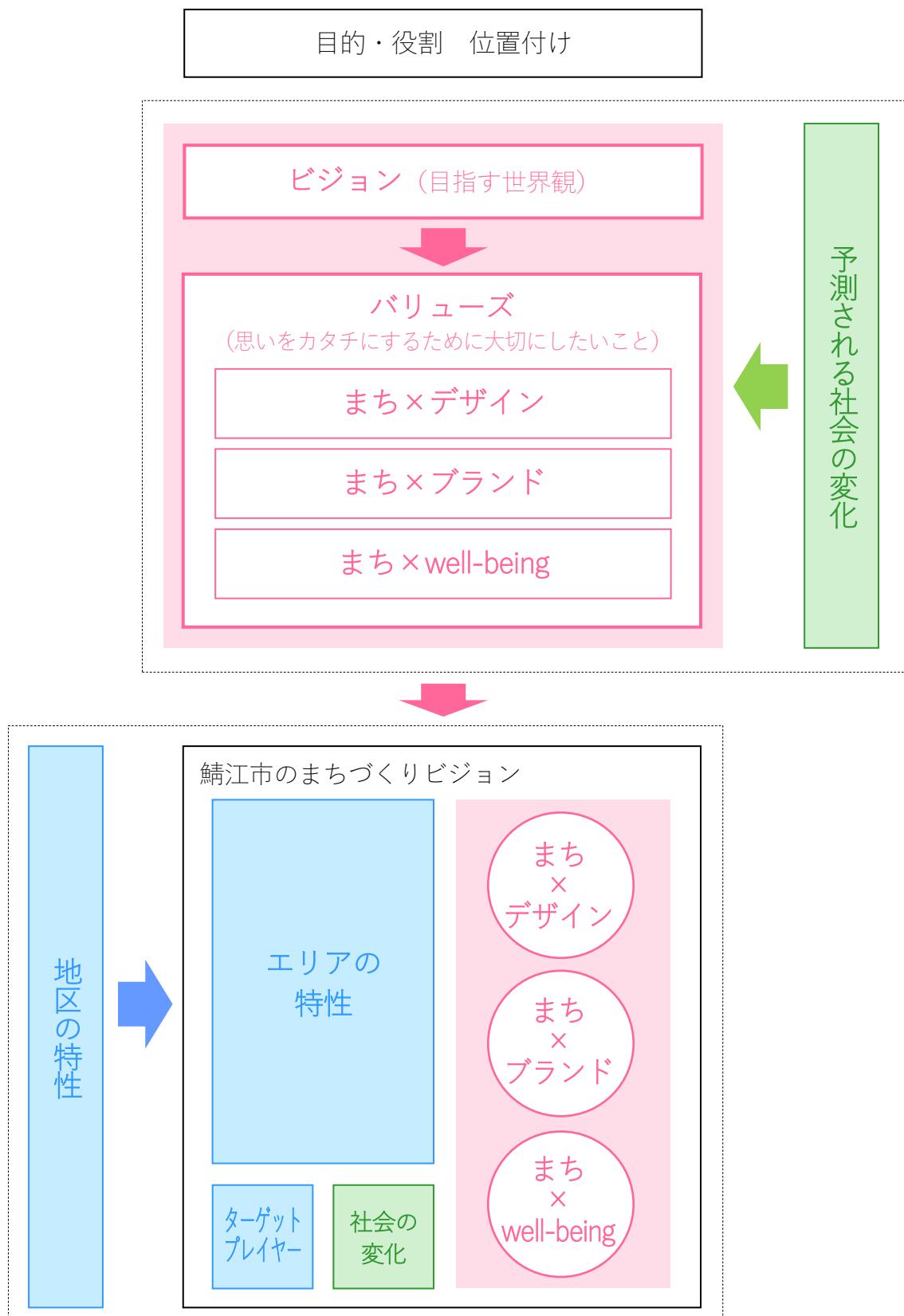
2. ビジョンの位置づけ

- ◆「(仮称) 鯖江市将来ビジョン」は、「(仮称) 鯖江市デジタル田園都市構想総合戦略」と一
体的にまちづくりを推進します。
- ◆「(仮称) 鯖江市将来ビジョン」は、目指す未来像を共有することにより、各分野の計画・
施策と連携を図ります。



3. ビジョンの構成

- ◆ 「(仮称) 鯖江市将来ビジョン」は、「ビジョン（目指す世界観）」と「バリューズ（思いをカタチにするために大切にしたいこと）」、予測される社会変化、地区の特性をそれぞれ明らかにし、鯖江市のまちづくりビジョンを描きます。



Ⅱ 2040年の展望

ビジョン

目指す世界観

Do SABAE 行動しよう 思いをカタチに

Do は、一般的に「～をする」という動詞です。

「もとからあるものに対して手を加える」という意味もあります。

鯖江市は行動してきました。

たとえば Do は make

ものをつくり、市民主役の礎をつくり、
自分たちのまちを自分たちでつくってきました。

たとえば Do は think

SDGs やゼロカーボンシティなど、
鯖江の未来と世界の未来を真剣に考えてきました。

たとえば Do は play

体操のまち、吹奏楽のまちとして、様々な感動体験を共有してきました。

行動してきたこれまでと、行動していくこれからと。

これまで鯖江市が行動し、培ってきた、たくさん物事を踏まえながら、
社会情勢の変化を受け入れ、鯖江の次の未来のために
さらに前へ 一歩踏みだし 行動する。

行政も民間も

地域も住民も

みんなが行動すれば 大きな変化が生まれる。

「Do SABAE」にはそんな思いがこめられています。

自分たちができる 自分たちだからできる そして鯖江だからこそできる。
行動しよう 思いをカタチに。

バリューズ

思いをカタチにするために大切にしたいこと



デザイン / 新しい価値の創造

デザインとは、問題解決すること そして
ワクワクするような楽しさや未来を生み出す姿勢を示します。
どんなに困難に見える課題も
デザインで解決する糸口があるはずです。

行動しよう

人にまちに、そして社会に、
新たな価値を提案して、人々の生活に変化を与えよう。



ブランド / 愛されるさばえ

ブランドは共感が大切で、それは理解と愛着から生まれます。
人に対する共感
まちに対する共感
モノに対する共感
そして、より多くの人に鯖江を知ってもらうことです。

行動しよう

誰もが鯖江を好きになる
まちごとブランドを目指そう。



Well-being / 共鳴する社会

人ひとりの行動で世界のあり方が変わる時代です。
しかし、個人が独りよがりの Well-Being を築いても、
周りがよい状態になければ持続可能とはいえません。

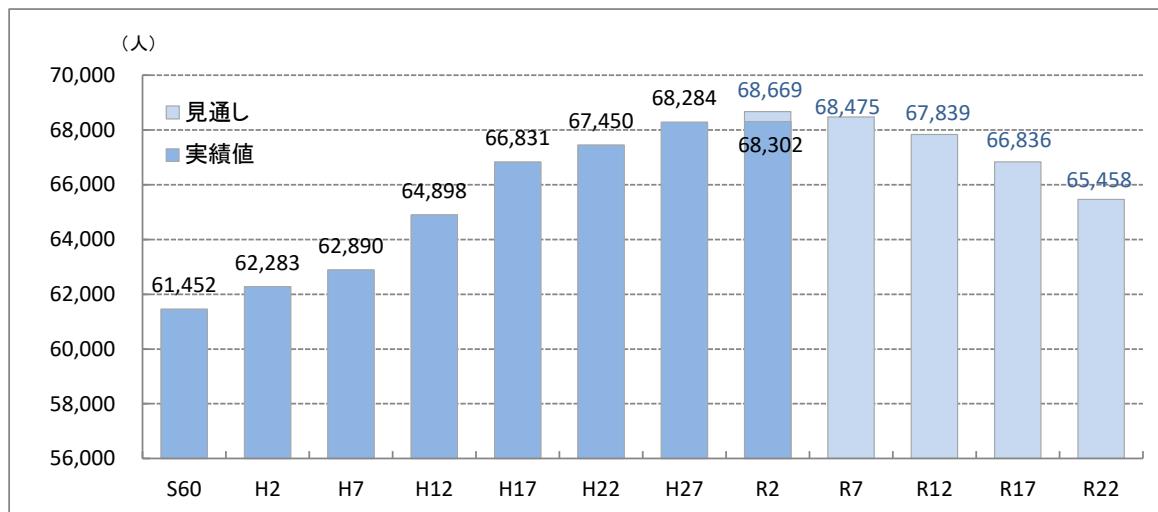
行動しよう

人と人 人とまち つながりながら互いに
Well-Being を実現し合う社会を築こう。

1. 市の現状と予測

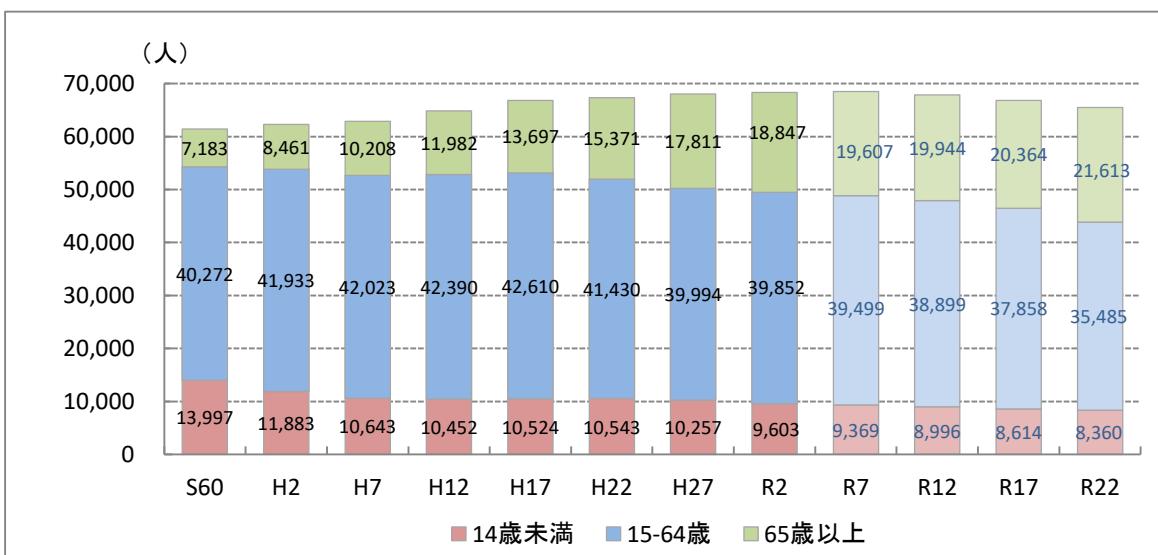
【人口・世帯数】

- 市制施行以来、順調に人口増加が続いてきましたが、2020年（令和2年）に増加傾向は鈍化し、今後は減少傾向に転じることが予測されています。



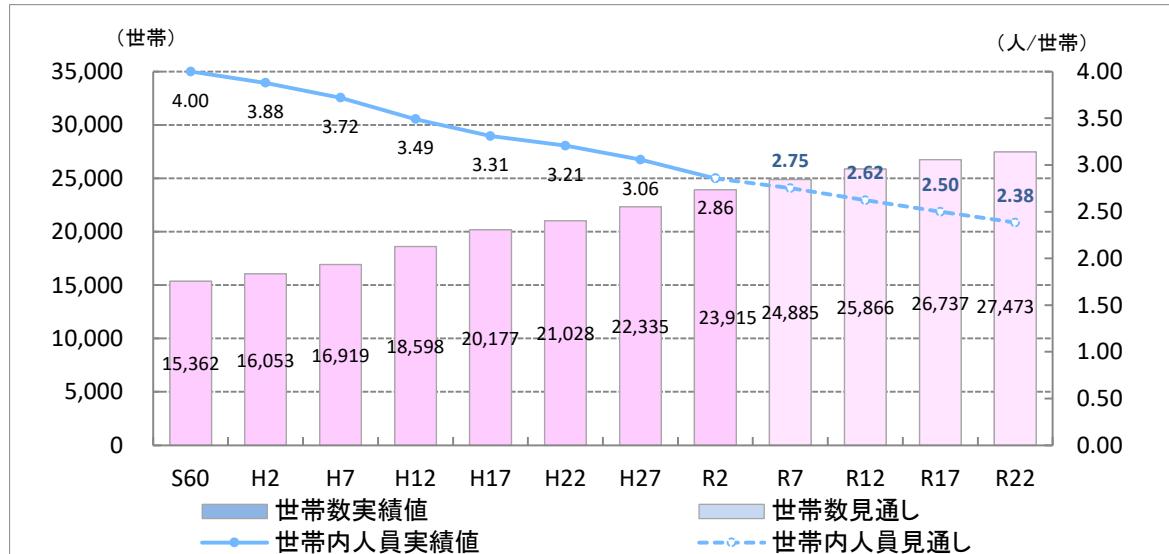
【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所

- 年少人口（14歳未満）は、1985年（昭和60年）以降は減少傾向、生産年齢人口（15歳～64歳）は2005年（平成17年）以降減少に転じ、2015年（平成27年）以降は横ばい傾向となっており、今後は減少傾向が続くことが予測されています。
- 老人人口（65歳以上）について、2020年（令和2年）の高齢化率は27.6%に達しており、今後も増加傾向が予測されています。



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所

- 2020年（令和2年）の世帯数は23,915世帯となっており、1世帯当たりの人数は2.86人/世帯となっています。今後も、世帯数は増加が続く一方、世帯規模は縮小傾向が続くことが予測されています。



※実績値（S60～R2）：国勢調査

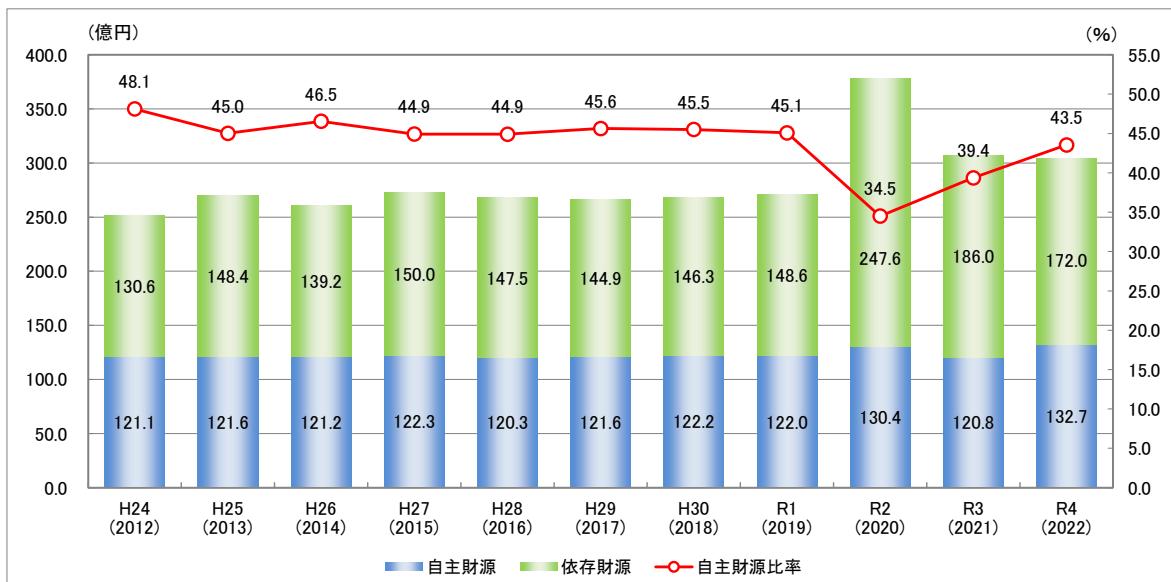
※1世帯当たりの人数の見通し（R7～R27）の値は、昭和60年～令和2年の実績値からの推計値

※世帯数の見通し（R7～R27）の値は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値を世帯規模で除した値

【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所

【財政】

- 自主財源に大きな変動は見られませんが、**依存財源がやや増加**する傾向にあり、2022年（令和4年）には自主財源が132.7億円、依存財源が172億円となっています。
- 自主財源比率は、2010年（平成22年）以降は**45～46%程度で推移**していましたが、2020年（令和2年）に大きく低下し、2022年（令和4年）には43.5%まで回復しています。



※自主財源は、地方税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金、諸収入からなる。

【出典】府内資料

2. 予測される社会の変化

【人口】

- ・日本は**人口減少が本格化**し、**少子化・高齢化が進み**、**生産年齢人口が減少**しています。
- ・男女ともに**平均寿命が延び**、人生100年時代と言われる時代になっています。
- ・**働く女性が増加**し、女性活躍社会の実現が求められています。
- ・深刻な労働力不足の中で、**女性や高齢者、外国人**が貴重な労働力となっています。

鯖江市では

- ◆地域の活力維持や、地域社会の支えあいなどに向けた取組がより一層進められています。
- ◆計画的な**インフラ施設**や**公共施設**の整備・維持管理、先端技術を最大限に活用した行政サービスが提供されています。
- ◆多様化・複雑化する市民ニーズに応えていく一方で、減少する人口規模に合わせて行政サービスを見直すことが不可避となっており、「**選択と集中**」や「**量から質への転換**」が図られています。
- ◆年齢、性別、国籍の区別なくすべての市民が活躍できる社会づくりが進められ、**ダイバーシティ**の取組みがより一層推進されています。

【生活】

- ・EC市場の拡大は不可逆的な変化であり、**インターネットでの買い物**、音楽や動画などの**サブスクリプション**が一般的になっています。
- ・人口減少や世帯分離を背景に、**空き地**や駐車場などの低未利用地、**空き家**や空きテナントが増加し、都市の中心部では低未利用地等が点在する「**スponジ化**」が進行しています。
- ・**移動総量が減少**し、人と人が会うことの価値が高まることが予測されています。
- ・**自動運転**や**カーシェアリング**の取組が本格化し、**MaaS**のように多様な交通手段を便利に利用して移動する時代になることが予測されています。
- ・**オンライン**でできるゲームが増えたり、**オンデマンド**での映画やドラマ配信が増えたり、仕事でも**テレワーク**が増えるなど、自宅で過ごす時間が長くなる傾向にあります。
- ・ソーシャルディスタンスの確保などの**ゆとり空間を志向**したり、**快適性**や**QOL**(Quality of Life)が重視される傾向にあります。

鯖江市では

- ◆全ての世代が様々な生活の場面で**ECサイト**や**サブスクリプション**を利用しています。
- ◆空き家や空き店舗が有効に活用されて、まちなか居住や商店街の活性化が促進されています。
- ◆神社や仏閣などの**地域資源**が有効に活用されています。
- ◆つつじバスやタクシーなどの二次交通に**MaaS**や先端技術が取り入れられ、**便利な移動手段**として市民等に利用されています。
- ◆ロボット技術等の進歩により、家事や介護の時間が短縮され、家庭や地域、自己啓発などの**自分の時間を大切にする**人が増えています。
- ◆**遠隔診療**や**高度医療**の発達などにより、自分の状態にあった最適な医療や介護を受けています。
- ◆幸福寿命が延伸し、**高年大学**や**地区公民館**を拠点に高齢者が**いきいきと社会参加**をしてい

【技術革新・産業】

- ・携帯電話やタブレット、車や家電など、様々なモノが**インターネットに繋がり**、離れた場所から対象物を計測・制御することや、モノ同士の通信が可能となっています。
- ・将来は、**6G** や**衛星インターネットアクセスサービス**の普及により、高速・大容量、多数同時接続が可能な高速通信が進展することが予測されており、**デジタルツインの活用**がさらに広がっています。
- ・**AI** が進展し、時間が掛かる作業の多くが AI に代替される時代になっています。
- ・**技術革新・DX** が進展し、**自動運転**や**都市全体のマネジメント**、**スマートシティ化**が進展する時代になっています。
- ・健康・医療、社会保障など、あらゆる分野の手続きにおいて**電子申請**が一般化しています。
- ・様々な分野で世界中の誰もがアクセス可能な分散型アプリケーションが開発され、国境を越えたグローバルな取引も見られるなど、**web3** が広がりを見せています。

鰐江市では

- ◆IT のまちさばえとして、AI や IoT などの**デジタル技術**を積極的に導入しています。
- ◆AI やブロックチェーンなどの Web3 の技術を使い、市民サービス向上に役立てています。
- ◆教育や医療、交通などの分野を中心に、市民や事業者、行政が連携して住みやすい持続可能な都市づくりへの取組が進められています。AI や IoT などの技術が**インフラ施設**や**公共施設**など様々な施設に導入され、より一層、**便利で快適な暮らし**や**サービス**が一般的になっています。
- ◆行政手続きは、**市役所に来ることなく**スマホやタブレットから手続きしています。
- ◆**スマート農業**が本格化し自動運転のトラクターなどが活躍する一方で、**小規模耕作地**の離農が進まないよう**後継者育成**を進めています。
- ◆眼鏡、繊維、漆器に代表される本市の**ものづくり産業**は、世界中の地域と直接繋がり、**鰐江ブランドの価値**が高まっています。
- ◆ロボット技術や AI 技術の進歩により、**未来の職業**が大きく変わり、**新たな雇用**が生まれて

【環境・防災】

- ・ S D G s 「持続可能開発目標」から新しい目標に向かって取組みを進めています。
- ・ **脱炭素社会・ゼロカーボンシティ** の実現に向けて、2050 年までに日本全体で温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標への行動が求められています。
- ・ 脱炭素社会に向けて**再生可能エネルギーの普及**が進展し、電力の自家消費や蓄電への移行が進んでいます。
- ・ 近年、地震や集中豪雨等などの**大規模災害**が多発しており、今後、**頻発化・激甚化する災害リスクの高まり**が予想されています。

鯖江市では

- ◆ **さばえ SDGs 推進センター**を中心に、2030 年の目標達成について総括を行い、**新たな目標**に向け、より一層、活動を強化しています。
- ◆ 「めがねのまちさばえ ゼロカーボンシティ宣言」に基づき、2050 年の二酸化炭素排出量実質ゼロ・脱炭素社会の実現に向けて、**環境負荷を低減させる**取組などが進められています。
- ◆ **災害に強い都市づくりを目指して**、AI や科学技術などを活用し、大規模な自然災害に備えたソフト・ハード両面の取組が進められています。

【次世代を担う若者の意識・常識】

- ・ 2010 年以降生まれた **α世代（ジェネレーションアルファ）** は、SNS やプログラミング、キヤッショレスなどのデジタル社会とコロナ禍に育ち、オンラインゲームやストリーミング視聴など人に会わなくても余暇を楽しんでいます。
- ・ デジタルでは体験しにくい、**リアルな体験の価値**が高まる時代になります。
- ・ モノを所有するだけでなく、**シェア**する時代、**サブスクリプション**等でサービスを購入することが多くなります。
- ・ 働き方の**価値観が多様化**し、**自分らしい、マイペースな働き方**が志向される時代になり、転職はポジティブな感覚で捉えられます。

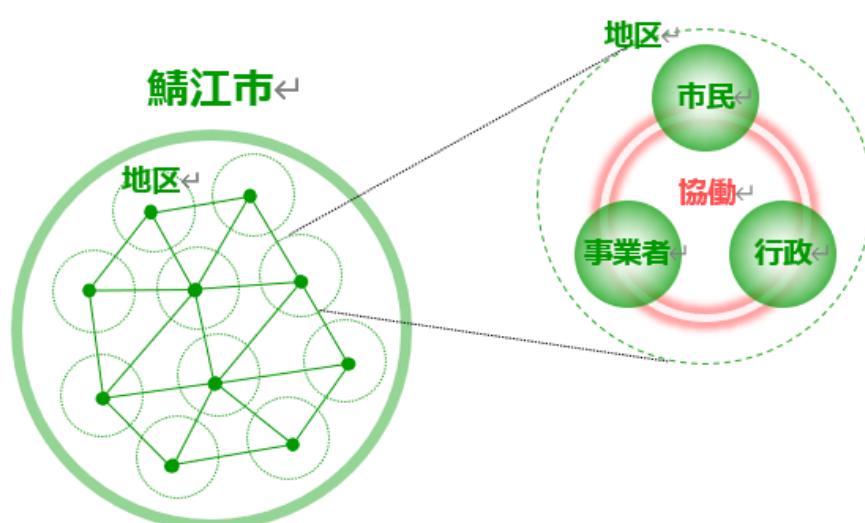
鯖江市では

- ◆ **生成 AI やプログラミング教育**が進み、**ICT 社会を支える人材**が育っています。
- ◆ 学校生活の中でデジタル機器を活用し、**必要な情報を得て、世界中のコミュニティ**に加入しています。
- ◆ ライブや旅行、食事などの**思い出に残る体験**に価値を見出す若者が多くなっており、学校生活で様々な**感動体験**を共有することで、ふるさと愛が育まれています。
- ◆ 仕事よりも趣味などの**自分の時間**を大切にしている若者が多くなっています。

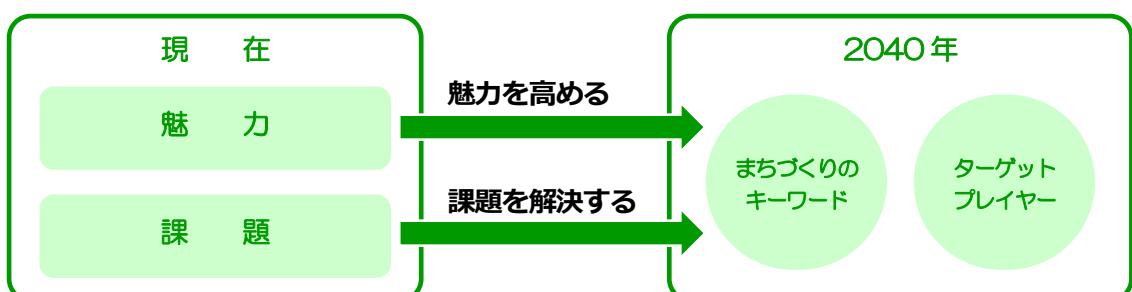
III 地域のまちづくりビジョン

1. 地区のまちづくり

- 本市では、平成 22 年 4 月に「鯖江市民主役条例」を施行し、**市民民主役のまちづくりの基盤である地域の個性を活かす**とともに、地域づくりに関する市民の意思を尊重することを明言しています。
- これまで経験したことのない人口減少社会への突入や著しいスピードでの高齢化社会の進展の中で、**地区と行政が、互いに共通の認識と理解**のもとに力を合わせ、**協働**して持続可能なまちづくりを進めていくことで、市民が笑顔で暮らし、将来にわたって住みやすいまちを創造することが重要です。
- 地区的歴史や資源、課題**をよく理解している市民の方々が、**地区的コミュニティや多様な人のつながり**を活かしつつ、**魅力や活力ある地区のまちづくり**を進めていくことが求められています。



- 将来ビジョンの策定に当たって、市民の方々を対象としたアンケート調査を実施するとともに、地区単位でタウンミーティングを開催し、住民の方々と**地区的宝や課題**等について意見交換を行いました
- 各地区においては、**地区的魅力**をさらに磨き、**課題**を解決することが重要であり、その実現に向けて、**まちづくりのキーワード**や**ターゲットプレイヤー**を明らかにします。



2. 地区の概要

- ・JR 鮎江駅が立地する鯸江地区、福井鉄道福武線神明駅が立地する神明地区、これらを中心とした市街地の東側に新横江地区・中河地区が接しています。
- ・市域の東側は、良好な自然環境が残る片上地区、北中山地区、河和田地区となっています。
- ・市域の西側は、神明地区に隣接する立待地区、日野川の西側は吉川地区、豊地区となっています。

7. 吉川地区

- ・人口 7,114 人(1 人減)
- ・世帯数 2,411 世帯(275 世帯増)
- ・高齢者数 1,590 人 (22.3%)
- ・出生数 : 57 人

6. 立待地区

- ・人口 9,917 人(383 人増)
- ・世帯数 3,720 世帯(397 世帯増)
- ・高齢者数 2,155 人 (21.7%)
- ・出生数 : 83 人

3. 神明地区

- ・人口 15,815 人(293 人増)
- ・世帯数 6,155 世帯(963 世帯増)
- ・高齢者数 4,294 人 (27.1%)
- ・出生数 : 104 人

5. 片上地区

- ・人口 1,907 人(171 人減)
- ・世帯数 619 世帯(19 世帯増)
- ・高齢者数 592 人 (31.0%)
- ・出生数 : 9 人

9. 北中山地区

- ・人口 2,649 人(310 人減)
- ・世帯数 832 世帯(34 世帯増)
- ・高齢者数 962 人 (36.3%)
- ・出生数 : 6 人

8. 豊地区

- ・人口 4,650 人(63 人減)
- ・世帯数 1,705 世帯(114 世帯増)
- ・高齢者数 1,209 人 (26.0%)
- ・出生数 : 29 人

1. 鮎江地区

- ・人口 12,908 人(113 人減)
- ・世帯数 5,170 世帯(602 世帯増)
- ・高齢者数 3,987 人 (31.0%)
- ・出生数 : 92 人

2. 新横江地区

- ・人口 5,340 人(221 人増)
- ・世帯数 2,015 世帯(347 世帯増)
- ・高齢者数 1,226 人 (23.0%)
- ・出生数 : 45 人

10. 河和田地区

- ・人口 3,769 人(718 人減)
- ・世帯数 1,329 世帯(20 世帯増)
- ・高齢者数 1,522 人 (40.4%)
- ・出生数 : 11 人

※人口・世帯数：R5.4.1(H25 からの増減)、高齢者数：R5.4.1(高齢化率)、出生数：R4

3. 地区の特性

鯖江

【人口・世帯数：R5.4.1（H25からの増減）、高齢者数：R5.4.1（高齢化率）】
人口 12,908 人（113 人減） 世帯数 5,170 世帯（602 世帯増）
65 歳以上高齢者 3,987 人（31.0%）
出生数 [R4] 92 人（R3から 13 人減）

鯖江市の中央・南側に位置し、古くから寺領、門前町として発展し、現在でも様々な歴史資源や文化資源が残る

市の玄関口となる JR 鯖江駅、市役所をはじめとする公共施設、西山公園、医療施設など多くの施設が立地する市の中心



【主な地区の資源】

JR 鯖江駅 福井鉄道福武線西山公園駅・西鯖江駅・サンドーム西駅
西山公園 鯖江市役所 鶴陽会館 市民ホールつづじ 道の駅 まなべの館 王山古墳群 誠照寺
萬慶寺 中道院 舟津神社 松阜神社 サンドーム福井 鯖江高等学校 など

地区の魅力

▶ 西山公園

- 鯖江のシンボルで、「日本の歴史公園 100 選」に認定されている。
- 約 5 万株のつつじが咲き乱れる日本海側随一のつつじの名所となっている。
- 園内には、レッサーパンダが人気の動物園、芝生広場、パンダらんど、日本庭園などがあり、子どもから大人まで楽しむことができる。
- 福井鉄道福武線西鯖江駅・西山公園駅から徒歩でアクセスできる。
- 貴重な観光資源であるとともに、市民の憩いの場としても重要な役割を果たしている。

▶ JR 鯖江駅・福井鉄道福武線各駅

- JR 鯖江駅は市民だけでなく、市外・県外からの来訪者の玄関口となっている。
- 特に、サンドーム福井で行われるイベントの際は、JR 鯖江駅を利用する人が多い。
- JR 北陸本線や福井鉄道福武線は、住民の日常の交通手段として福井市や越前市等への移動を支えている。

▶ 歴史文化資源

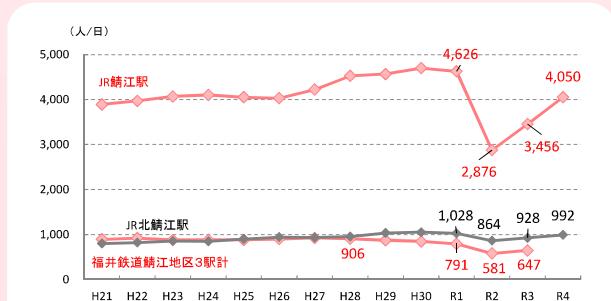
- 王山古墳群や舟津神社など、歴史的資源が多い。（王山古墳群は国指定史跡）
- 誠照寺の境内で毎月開催される「誠市」や、中道院で行われる「すりばちやいと」、まちなかで行われる「やっしきまつり」など、歴史的・文化的行事が継承されている。

▶ 便利な生活環境・都市機能が集積

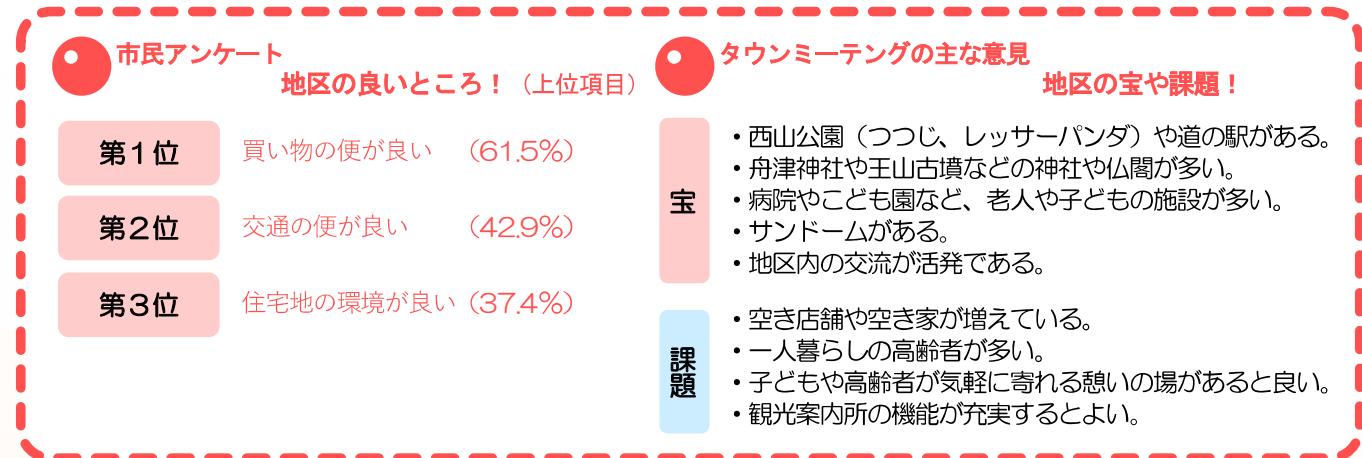
- 市役所、医療・介護福祉施設、子育て関連施設、商業施設など、日常生活を支える施設が充実している。
- まなべの館、スポーツ交流館など文化・スポーツ施設も充実しており、都市機能が集積している。



西山公園



JR 鮎江駅、福井鉄道福武線・鯖江地区3駅利用者数の推移



地区の課題

▶にぎわいづくり

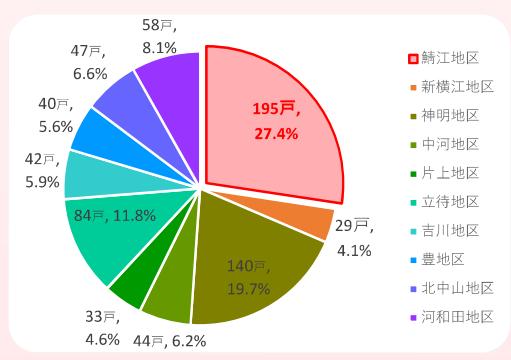
- ・市の玄関口となる JR 鮎江駅周辺では、案内機能を強化し、利便性を高めるとともに、市内外の様々な人が集まり交流できる場づくりが重要となっている。
- ・西山公園エリアでは、駅、道の駅、公園や公共施設、神社仏閣などの歴史的資源を活かし、まちなかの回遊性向上させるとともに、にぎわいを創出することが求められている。

▶空き家・空き店舗

- ・地区内に 195 戸の空き家があり、市全体の約 1/4 に及ぶ。
- ・商店街では商いを止めたお店が多く、空き店舗が見られる。
- ・空き店舗を活用したアンテナショップの開業など商店街を活性化させる事業の実施や、空き家を活用したまちなか居住が求められている。

▶交通

- ・北陸新幹線金沢・敦賀間開業に伴う特急列車の廃止によって、観光やビジネスなどの目的で JR 鮎江駅を利用する人が減少することが懸念されている。
- ・二次交通や ICT を活用した交通サービスの充実、並行在来線の利用者の利便性向上が求められている。



鯖江地区空き家数(R5.10.30)

魅力向上・課題解決に向けて

▶まちづくりのキーワード

- ・にぎわい創出、回遊性向上
- ・公共施設・空き店舗・空き家の活用
- ・交流人口・関係人口、サードプレイス

▶ターゲットプレイヤー

- ・事業主、不動産所有者
- ・来訪者、観光客、学生、若者、アクティブシニア



鯖江市観光案内所

新横江

【人口・世帯数：R5.4.1（H25からの増減）、高齢者数：R5.4.1（高齢化率）】
人口 5,340 人 (221 人増) 世帯数 2,015 世帯 (347 世帯増)
65 歳以上高齢者 1,226 人 (23.0%)
出生数 [R4] 45 人 (R3から 2 人増)

鯖江市の中核・南側に位置し、国道8号線や北陸自動車道鯖江 IC に近い立地条件から、公共施設、住宅や店舗・飲食店などの施設が立地

国道8号から北陸自動車道までのエリアを中心に、戸建て住宅の建築が多く、高齢化率は市内で2番目に低い



【主な地区の資源】

いきいき未来館 めがね会館（めがねミュージアム） 東公園陸上競技場 総合体育館 市民プール
文化センター 證誠寺 八幡神社 劔神社本殿・拝殿 三里山 許佐羅江清水 など

地区の魅力

► めがね会館(めがねミュージアム)

- 館内には、3000 本以上のメガネフレームが揃っている「めがね Shop」、めがねの歴史を紹介する「めがね博物館」、オリジナルメガネの制作体験ができる「体験工房」があり、年間約 14 万人が来館。
- 年に1回開催される「めがねフェス」には、県内外から2万名以上が来場。
- JR 鯖江駅と「めがねミュージアム」を結ぶメガネストリートは、「めがね」をコンセプトに、ベンチ、看板やタペストリーなどが統一されている。

► 文化・スポーツ施設

- 東公園陸上競技場、市民プール、総合体育館があり、スポーツ・レクリエーションの拠点として、多くの人が利用しており、「つづじマラソン」などの大会会場としても活用されている。
- 市民の文化活動の拠点となる「文化センター」があり、多くの文化的イベントが開催されている。

► 便利な生活環境

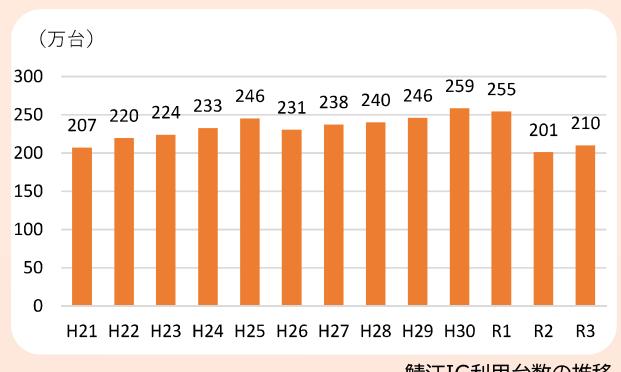
- 国道8号線や北陸自動車道鯖江 IC が近く、交通の利便性が高い。
- 国道8号線の沿道を中心に、スーパー・マーケットなどの商業施設、子育て関連施設、文化・スポーツ施設など、日常生活を支える施設が充実している。

► コスモスロード

- 穴田川堤防沿い 800m の遊歩道をコスモスロードとして地元のまちづくり団体が管理。
- 毎年、「コスモス祭り」や「コスモスふるさとウォーキング」が開催されている。



めがねミュージアム



●市民アンケート

地区の良いところ！（上位項目）

第1位	買い物の便が良い	(67.9%)
第2位	交通の便が良い 自然災害や犯罪が少ない	(35.7%)
第4位	住宅地の環境が良い	(28.6%)

●タウンミーティングの主な意見

地区の宝や課題！

宝

- ・新横江こども園など、子育てしやすい生活環境がある。
- ・交通の便や生活環境が充実している。
- ・JR 鮎江駅や高速ICが近い。
- ・総合体育館が近い。
- ・水害が少ない。

課題

- ・つづじマラソンの時などは交通規制や当日の混雑が見られる。
- ・壮年会の組織率が低下している。
- ・ゴミステーションが管理されていないところがある。

地区の課題

►にぎわいづくり

- ・「めがねミュージアム」や文化センター、東公園・総合体育館などを活かすとともに、メガネストリートの充実などにより、JR 鮎江駅との繋がり・人の流れを創出することが求められている。
- ・「めがねミュージアム」は、産業観光の一翼を担い、インバウンドへの対応も含め、様々な人が集まり交流できる場づくりが期待されている。



メガネストリート

►子どもの通学環境

- ・中学校が遠く、通学路はJR 北陸本線や国道8号を横断している。

魅力向上・課題解決に向けて

►まちづくりのキーワード

- ・にぎわい、働く場としての充実
- ・国道8号等の移動の利便性や生活利便性の充実
- ・多様な公共施設
- ・交流人口・関係人口、サードプレイス



東公園

►ターゲットプレイヤー

- ・事業主、不動産所有者、来訪者、学生、若者
- ・子育て世帯

神明

【人口・世帯数：R5.4.1（H25からの増減）、高齢者数：R5.4.1（高齢化率）】
人口 15,815 人（293 人増） 世帯数 6,155 世帯（963 世帯増）
65 歳以上高齢者 4,294 人（27.1%）
出生数 [R4] 104 人（R3から 35 人減）

鯖江市の中央・北側に位置し、福井鉄道福武線神明駅を中心として市街地が造られ、鯖江地区とともに市の拠点となっている

地区の北側は福井市であり、福井市への移動は便利。つつじ通りには商店が多く、眼鏡部品や繊維を中心とした工業も盛ん



【主な地区の資源】

福井鉄道福武線神明駅・水落駅・鳥羽中駅・三十八社駅
神明社 兜山古墳 神明苑 文化の館 公立丹南病院 丸山公園・御幸公園・神中公園
旧瓜生家住宅 など

地区の魅力

► 福井鉄道福武線

- ・北から三十八社駅、鳥羽中駅、地区の中心となる神明駅、水落駅の4つがあり、住民の移動を支えている。
 - ・特に、神明駅周辺は、公立丹南病院や商店街、中央中学校など、様々な施設が立地。
 - ・福井市や越前市への移動が便利。

► 神明社・兜山古墳

- ・神明社や兜山古墳、旧北陸道（歴史の道）などの歴史資源が多い。
 - ・兜川古墳は北陸最大級の円墳。

▶ 便利な生活環境

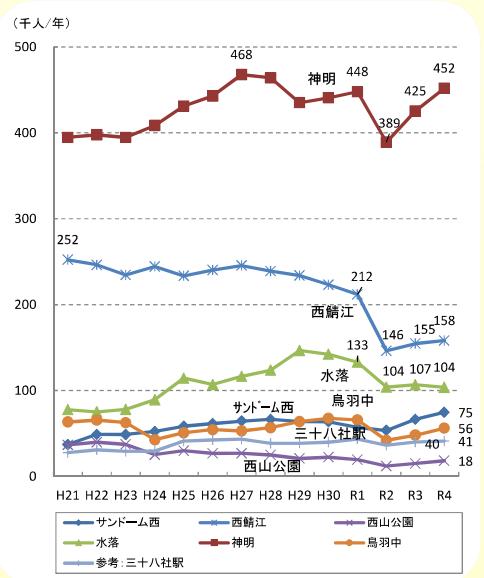
- ・市内 10 地区で最も人口が多い。商店・飲食店も多く、近くでほとんどの物を揃えることができる。
 - ・福井市や越前市と連絡する国道8号が地区の東側を縦断。沿道には、大規模な工場等が立地する東部工業団地のほか、大規模商業施設やホテル、飲食店等の沿道土地利用が進んでいる。

► 公立丹南病院

- ・丹南地域における医療の中核を担い、福井県災害拠点病院に指定され、16診療科を有する地域に密着した病院。



兜山古墳



福井鉄道福武線神明駅利用者数の推移

●市民アンケート

地区の良いところ！（上位項目）

- 第1位 買い物の便が良い（68.8%）
- 第2位 住宅地の環境が良い（46.8%）
- 第3位 交通の便が良い（39.0%）

●タウンミーティングの主な意見

地区の宝や課題！

宝

- ・人口が多い。
- ・病院・買い物・交通（駅）など、利便性が良い。
- ・バス・福井鉄道など、交通の便が良い。
- ・近くでほとんどの物がそろう。
- ・神明社など、歴史資源が多い。

課題

- ・歴史の道など、文化の発信・活用がなされていない。
- ・南北の公共交通機関は良いが、東西の移動は不便。
- ・道が入り組んでいて、狭い道がある。
- ・地区のPRが足りない。

地区の課題

▶にぎわいづくり

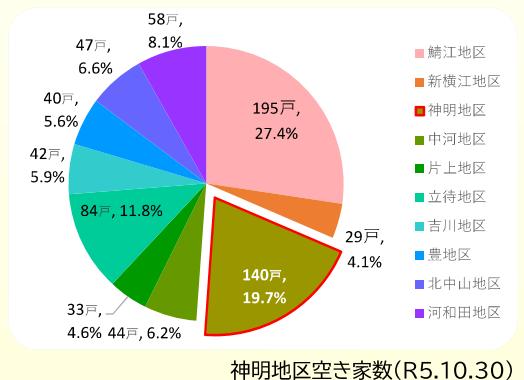
- ・生活サービス機能や公共交通サービス機能の利便性を高めることが求められている。
- ・140戸の空き家があり、これらの空き家等を活用したまちなか居住が求められている。

▶歴史・文化資源

- ・貴重な歴史・文化資源の情報発信が弱く、上手く活用されていない。

▶交通

- ・福井市や越前市への南北方向の移動に比べて、東西の移動が不便。



魅力向上・課題解決に向けて

▶まちづくりのキーワード

- ・生活の利便性、移動の利便性の充実
- ・医療施設の充実、子育て環境の充実
- ・にぎわい、働く場・学びの場としての充実
- ・居場所づくり

▶ターゲットプレイヤー

- ・事業主、不動産所有者
- ・子育て世帯
- ・アクティビズニア



文化の館

中河

【人口・世帯数：R5.4.1（H25からの増減）、高齢者数：R5.4.1（高齢化率）】
人口 4,577 人 (224 人増) 世帯数 1,543 世帯 (302 世帯増)
65 歳以上高齢者 1,257 人 (27.5%)
出生数 [R4] 44 人 (R3から 5 人減)

鯖江市のほぼ中央に位置し、三里山や鞍谷川、浅水川など自然が豊かな場所

国道8号や北陸自動車道鯖江 IC に近く、車での交通利便性が高い。北陸新幹線が地区の中央を縦断



【主な地区的資源】

JR 北鯖江駅

エコネットさばえ 高年大学 鯖江警察署 三里山 三ツ岩古墳 雨降神社跡 など

地区の魅力

▶ 三里山

- 鯖江市と越前市にまたがり、1周が三里あることから三里山と名付けられた。
- 登山コースには、カタクリの群生地、三ツ岩古墳、雨降神社跡、ハゲ山、波うち岩、隠し田跡、滝など、見どころが多数ある。

▶ 田園風景

- 三里山と橋立山、鞍谷川に囲まれた水田は、一団の農地としては市内で一番広い。
- 春はさばえ菜花が一斉に咲き、初夏の水稻の緑、大麦の金色のコントラストは鮮やかで鯖江百景に選定されている。

▶ 交通の利便性

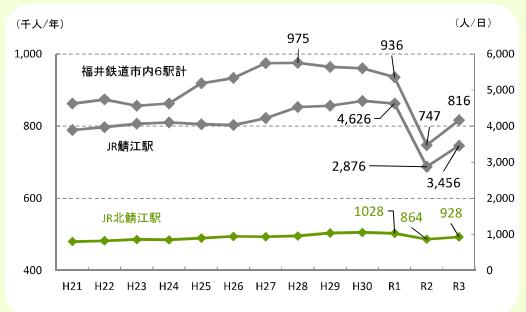
- 国道8号や北陸自動車道鯖江 IC が近く、JR 北鯖江駅がある。

▶ きらめきロード中河

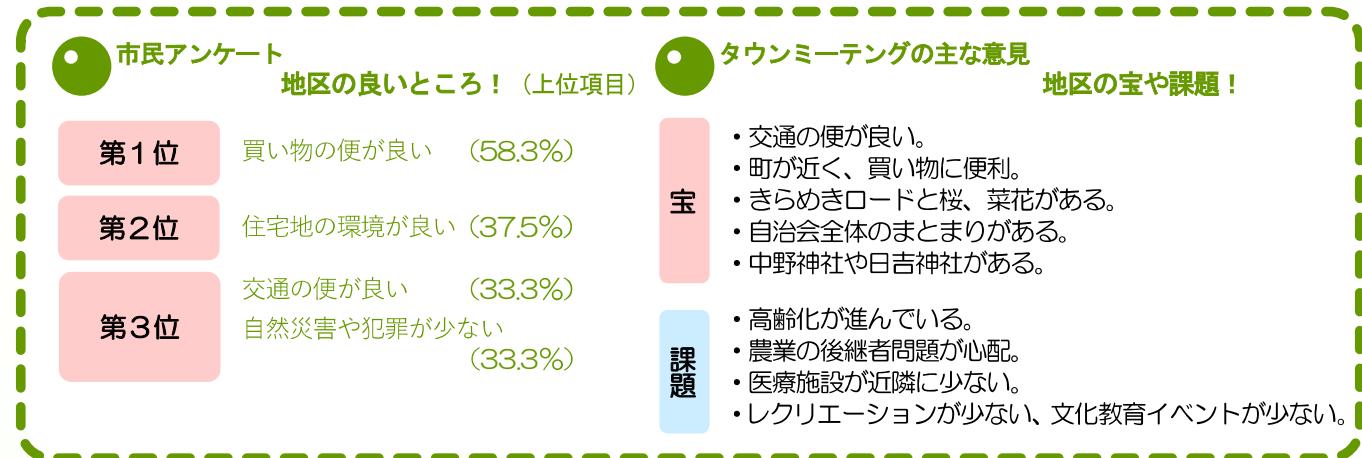
- 平成元年にソメイヨシノを 20 本植樹し、その後継続して、整備、植樹を行い、現在では左岸 36 本、右岸 32 本のソメイヨシノが植えられている。
- 桜の開花に合わせ、約 400 個の提灯のライトアップ、100 匹を超えるこいのぼりが泳ぐ桜の名所。



きらめきロード中河



JR 北鯖江駅利用者数の推移



地区の課題

▶ 高齢化

- ・高齢者の一人暮らしが増えており、今後、交通弱者の問題とも重なり、食料品等日常の買い物が困難になる可能性がある。

▶ 生活サービス

- ・地区内にスーパー、ドラッグストアが少ない。

▶ 交通

- ・自動車による移動は便利であるが、つつじバスは、片上・中河線は平日 5 便、北中山・中河線が平日 8 便。
- ・北中山・中河線の乗降客数は令和元年から微増傾向となっているが、片上・中河線の乗降客数は、令和 4 年は年間 3,722 人で令和 3 年から 2,554 人減少している。

▶ 土地利用

- ・自然環境や田園環境の保全、農業等の後継者問題が課題。



魅力向上・課題解決に向けて

▶ まちづくりのキーワード

- ・生活の利便性、移動の利便性の充実
- ・地区コミュニティの充実
- ・自然、歴史、文化資源の保全および活用

▶ ターゲットプレイヤー

- ・アクティブシニア
- ・農業の後継者



片上

【人口・世帯数：R5.4.1（H25からの増減）、高齢者数：R5.4.1（高齢化率）】
人口 1,907 人（171 人減） 世帯数 619 世帯（19 世帯増）
65 歳以上高齢者 592 人（31.0%）
出生数 [R4] 9 人（R3から 4 人減）

鯖江市北東部に位置し、北は古くから人々の信仰を集めた文殊山を背に福井市と接する

古墳群が6群確認されており、莊園も鯖江で最も早く成立しており、地区の歴史は古い。三方を山に囲まれ、集落の南側には水田が広がるのどかな環境を有する



【主な地区的資源】

今北山古墳群・磯部古墳群・弁財天古墳群 など

地区の魅力

▶ 文殊山

- ・約 1,300 年前に泰澄大師が開山したといわれ、越前五山の一つに数えられる。標高は 365m。
- ・頂上からは福井平野、片上地区が一望できる。

▶ 鯖江かたかみ春たんぼ

- ・文殊山の祭礼に合わせて毎年 4 月 29 日に開催される自然と触れ合える春の祭り。
- ・文殊山の登山や田んぼを活用したアクティビティを体験できる。

▶ 今北山古墳群

- ・弁財天山から北西にかけて伸びる尾根沿いとその支尾根に沿って分布する古墳群。
- ・弥生時代後期にまで遡る墳丘墓や前方後円墳・方墳・円墳と様々な形の古墳が一つの尾根上に連綿と連なる。
- ・33 基を数えることができ、この古墳群には一連の古墳の中でも比較的大型の円・方墳が分布している。



文殊山からの眺望



鯖江かたかみ春たんぼ

●市民アンケート

地区の良いところ！（上位項目）

- 第1位 山や川などの自然が豊か（71.4%）
- 第2位 住宅地の環境が良い（42.9%）
- 第3位 自然とまちなみが調和している（14.3%）

●タウンミーティングの主な意見

地区の宝や課題！

宝

- 文殊山を中心とした自然が豊か。
- 町中が静か（のどか）。
- 地区体育大会や春たんぽ等の行事への参加率が高い。
- 利便性が良い、生活が安心安全である。
- 人が優しくてまじめ。地域住民の団結力がある。

課題

- 人口減少、小学生が少ない。
- 交通の便が悪い、お店がない。
- 水害に対して脆弱、避難場所の確保が不十分。
- 農地保全の意識が強く、開発が進まない。

地区の課題

▶ 人口減少・高齢化

- 人口減少が大きく、高齢化が進展している地区の一つ。

▶ 生活サービス

- 地区内にスーパー、ドラッグストアはなく、車を保有しない交通弱者には買い物が困難な状況である。

▶ 交通

- 自動車による移動が主。
- つづじバス片上・中河線は平日 5 便。
- つづじバス片上・中河線の乗降客数は、令和4年は年間 3,722 人で令和3年から 2,554 人減少している。

▶ 土地利用

- 自然環境や田園環境の保全、農業等の後継者問題が課題。



つづじバス(片上・中河線)の乗降客数の推移

魅力向上・課題解決に向けて

▶ まちづくりのキーワード

- 地区コミュニティの充実
- 自然、歴史、文化資源の保全・活用
- 人口や世帯数の維持、移住者の受け入れ

▶ ターゲットプレイヤー

- アクティブシニア
- 農業の後継者



片上地区

立待

【人口・世帯数：R5.4.1（H25からの増減）、高齢者数：R5.4.1（高齢化率）】
人口 9,917 人（383 人増） 世帯数 3,720 世帯（397 世帯増）
65 歳以上高齢者 2,155 人（21.7%）
出生数 [R4] 83 人（R3から 17 人減）

吉江藩の風情を残す吉江七曲り通りや春慶寺、福正寺、西光寺などがあり、近松門左衛門が幼少のころを過ごした場所として言い伝えられる
めがね関連の工場が多くあり、幕末から昭和にかけて発展した木綿織物「石田縞」の技術の復元と次世代への継承への取組も行われている



【主な地区の資源】

西公園・大谷公園 榎お清水・糺野お清水 石田縞 など

地区の魅力

▶ 近松門左衛門

- 地域に眠る資源の可能性を最大限に開花させることにより地域活性化の活動をけん引することを目的とした「近松の里づくり事業推進会議」が設立され、住民が一体となって、淨瑠璃・歌舞伎作者として著名でブランド力が高い近松門左衛門を活かしたまちづくりを推進。
- 市民有志による鯖江人形淨瑠璃「近松座」、立待小学校「たちまち子ども文楽」による文楽の推進。

▶ 歴史資源

- 吉江藩の城下町の名残りである七曲りや町並み、西光寺などの歴史資源が多く残る。
- 立待地区で育てた二葉葵は、京都三大祭りのひとつである葵祭にあわせて上賀茂神社に奉納している。

▶ ものづくり

- めがね関連会社が集積している。
- 石田縞織物は、市指定無形文化財、福井県の郷土工芸品に指定されている木綿織物。鯖江市織維会館（石田縞手織りセンター）では手織り体験やその歴史に触れることもできる。

▶ お清水

- 榎お清水は、米岡町にあるお清水。「ふくいのおいしい水」認定。市指定文化財。
- 糺野お清水は、糺町にあるお清水。湧水区画東側には笏谷石勢の不動明王が祀られている。市指定文化財。

▶ 大谷公園

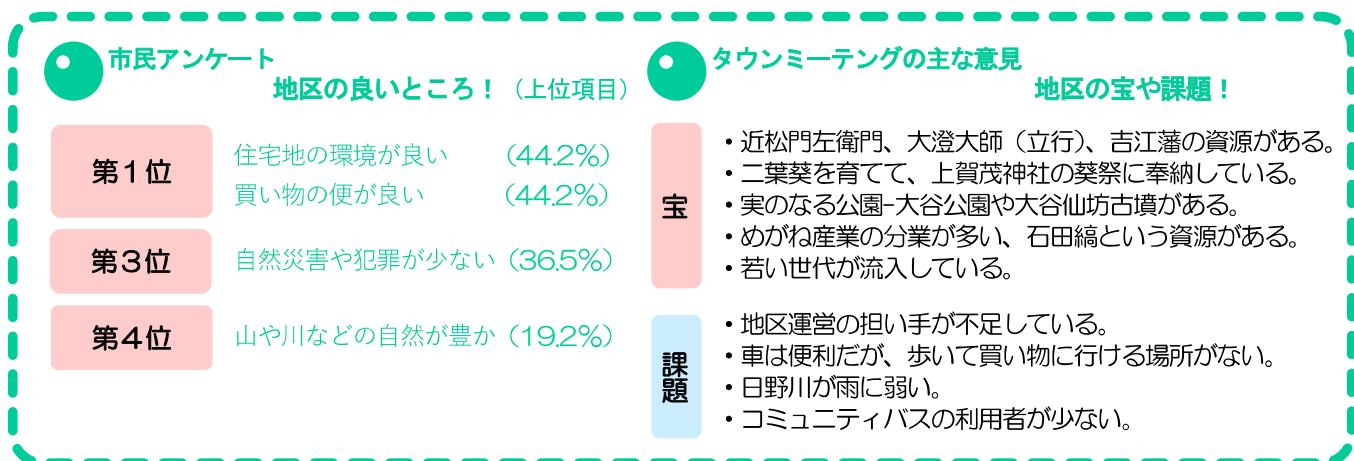
- 「実のなる公園」として、栗、柿、イチジクなど、実のなる樹木を植樹し、「育て、収穫し、食する」といった体験学習型公園。



吉江の七曲り



大谷公園



地区の課題

▶ 土地利用

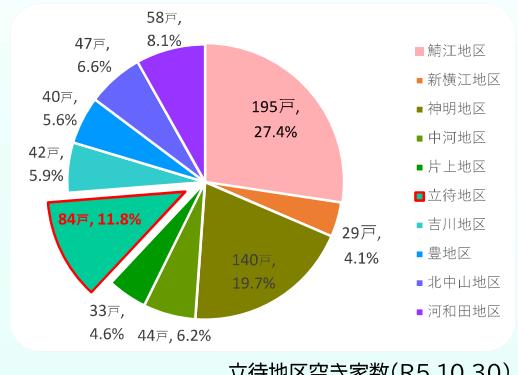
- 日野川西側の農地に開発された住宅団地では、自然や田園環境と調和した居住環境づくりが課題。
- 鯖江地区、神明地区に次いで空き家が多い。

▶ 生活サービス

- ドラッグストアは地区内にあるが、車を保有しない交通弱者には買い物が困難な状況である。

▶ 交通

- 自動車による移動が主。
- 日野川の東側、糺町などでは福井鉄道福武線に近いが、日野川の西側の石田上町や石田下町では福井鉄道福武線神明駅からも距離がある。
- つつじバス立待線は平日5便。



魅力向上・課題解決に向けて

▶ まちづくりのキーワード

- 地区コミュニティの充実
- 自然・歴史・文化資源の保全・活用
- ものづくり（めがね産業、石田縞等）

▶ ターゲットプレイヤー

- ものづくりの実践者、デザイナー
- 移住者
- 子育て世帯



吉川

【人口・世帯数：R5.4.1（H25からの増減）、高齢者数：R5.4.1（高齢化率）】
人口 7,114 人（1人減） 世帯数 2,411 世帯（275 世帯増）
65 歳以上高齢者 1,590 人（22.3%）
出生数 [R4] 57 人（R3から3人増）

鯖江市の西側中央に位置し、一団の水田が広がる自然が豊かで、コウノトリが生息するのどかな場所

戸建て住宅の立地が進み、子育て世帯が多く暮らしており、高齢化率は市内 10 地区の中で最も低い。地元の方との交流も盛ん



【主な地区の資源】

コウノトリ 吉川ナス 平等会寺山門等 三床山城跡 など

地区の魅力

▶ コウノトリ

- ・水田の中干し延期などの取組によって、水田にえさとなる生物が豊富となりコウノトリが飛来するようになっていることから、野鳥が飛びかうまちづくり整備事業の一環でコウノトリの巣塔を設置。
- ・コウノトリが安定的に生息可能となる「自然と共生するまちづくり」の推進を図るため、令和4年8月に「よしかわ“コウノトリ”ファンクラブ」を設立。コウノトリが飛来し続ける環境保全、こどもから大人までの環境学習、コウノトリをシンボルとしたまちづくり、活動の普及啓発・情報発信などを展開。

▶ 吉川ナス

- ・吉川ナスの歴史は 1000 年以上ともいわれ、昭和初期には関西方面にも出荷されていた。
- ・栽培技術や品質の高さ、地域や出荷先等からの評判、品種改良されることなく継承されてきた歴史等が評価され、伝統野菜としては全国初となる国の「地理的表示（GI）保護制度」の登録を受ける。

▶ 自然環境

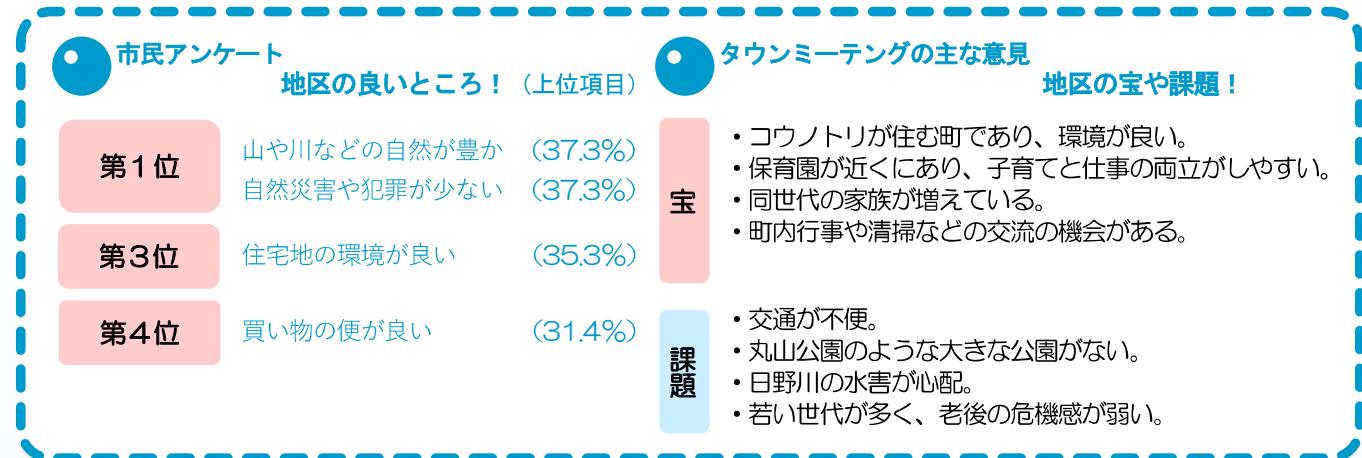
- ・地区の西側には三床山、東側は日野川があり、田園が広がっている。



コウノトリ



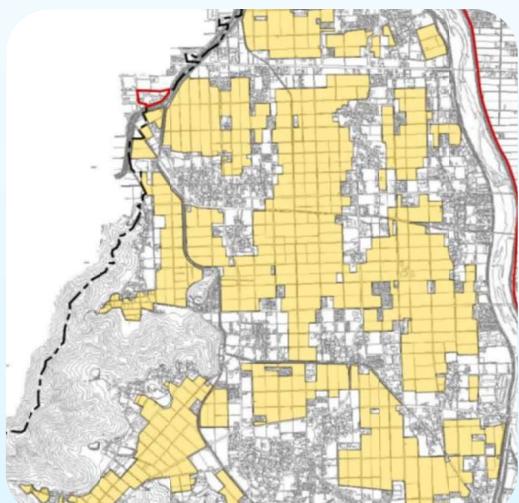
吉川ナス



地区の課題

▶ 土地利用

- 一団の農地の中に住宅団地が整備されており、自然や田園環境と調和した居住環境づくりが課題。
- 比較的大きな公園がない。



農振農用地区域図(黄色塗が農振農用地)

▶ 生活サービス

- 地区内にスーパー、ドラッグストアはなく、車を保有しない交通弱者には買い物が困難な状況である。

▶ 交通

- 自動車による移動が主で、福井鉄道福武線神明駅や水落駅から距離がある。子どもの通学に掛かる費用も大きく、高校や大学の選択肢にも影響。
- つづじバス吉川線は平日 6 便。

魅力向上・課題解決に向けて

▶ まちづくりのキーワード

- 自然資源、農業、田園環境の保全・活用
- 地区コミュニティの充実



田園風景

▶ ターゲットプレイヤー

- 子育て世帯
- 農業の後継者

豊

【人口・世帯数 : R5.4.1 (H25からの増減)、高齢者数 : R5.4.1 (高齢化率)】
人口 4,650 人 (63 人減) 世帯数 1,705 世帯 (114 世帯増)
65 歳以上高齢者 1,209 人 (26.0%)
出生数 [R4] 29 人 (R3から増減なし)

鯖江市の西側、越前市と接し、西側に三床山を挟み、東側の日野川まで田園が広がる恵まれた自然環境を有する

若い世帯が増える中で、住民の交流やふるさと学習など、地区の活動が活発に行われている



【主な地区的資源】

春日神社本殿 熊野神社本殿 三床山城跡 かみおか園地 和田石採掘場跡
国立福井工業高等専門学校 福井県立鯖江青年の家 など

地区の魅力

▶ 自然環境

- ・地区西部地域には 12 のため池があり、灌漑用の水源はもとより、多くの野鳥や生物が生息する自然環境の保全に役立っている。
- ・冬には水田にコハクチョウが飛来し、豊かな自然環境の象徴となっている。
- ・三床山麓から山道には桜や紅葉が 1500 本以上植樹され名所となっている

▶ 三床山

- ・鯖江市や越前町を一望できるスポット。
- ・「福井ふるさと百景ビューポイント」に選定。
- ・頂上には、御床山城があったとされ、堀切や郭などの跡が多く見られる。

▶ 教育環境の充実

- ・豊小学校、ゆたかこども園、豊公民館という市教育施設をはじめ、国立福井工業高等専門学校や福井県立鯖江青年の家など教育環境が充実している。

▶ 歴史資源

- ・文化財となる資源が多い。(春日神社本殿は国指定文化財、照臨寺の栴檀の大木は県指定文化財、相生の大杉・熊野神社は市指定文化財等)
- ・和田石採掘場跡は市指定文化財となっており、江戸時代から約300年にわたり、県内有数の採石場であった。



三床山からの眺望



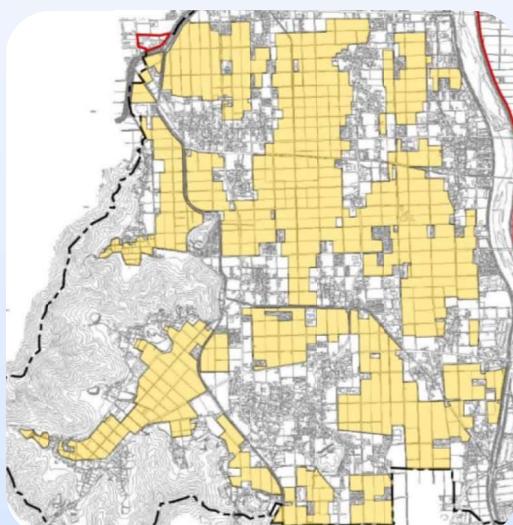
かみおか園地

市民アンケート		タウンミーティングの主な意見	
地区の良いところ！（上位項目）		地区の宝や課題！	
宝	課題		
第1位 山や川などの自然が豊か（44.1%）		・田んぼから日野山の眺望が雄大。 ・若い世代でも家を建てられる。 ・外に出ても帰ってくる若い人が多い。 ・「豊むかしむかし」など、ふるさと学習が盛ん。 ・春日神社（重文）や、青年の家がある。	
第2位 自然災害や犯罪が少ない（38.2%）		・三床山が有名になったが、デメリットもある。 ・公共交通機関の駅が遠い、バスが不便。 ・小さな子どもが遊べる公園がない。 ・農業の担い手が不足している。	
第3位 住宅地の環境が良い（35.3%）			

地区の課題

▶ 土地利用

- 一団の農地の中に住宅団地が整備されており、自然や田園環境と調和した居住環境づくりが課題。



農振農用地区域図(黄色塗が農振農用地)

▶ 生活サービス

- 高齢者の一人暮らしが増え、車を保有しない交通弱者には買い物が困難な状況である。

▶ 交通

- 自動車による移動が主で、JR 鮎江駅や福井鉄道福武線西鯸江駅から距離がある。
- つつじバス豊線は平日 6 便。

魅力向上・課題解決に向けて

▶ まちづくりのキーワード

- 自然資源、農業、田園環境の保全・活用
- 地区コミュニティの充実、移住者の受け入れ、移住者との連携・交流
- 交流人口、関係人口（さばえCrossArt等）

▶ ターゲットプレイヤー

- 子育て世帯
- 農業の後継者
- 移住者



さばえCrossArt

北中山

【人口・世帯数：R5.4.1（H25からの増減）、高齢者数：R5.4.1（高齢化率）】
人口 2,649 人（310人減） 世帯数 832 世帯（34 世帯増）
65 歳以上高齢者 962 人（36.3%）
出生数 [R4] 6 人（R3から 11 人減）

鯖江市の東に位置し、主要地方道福井今立線により
福井市や越前市へのアクセスが便利
弁財天古墳群に代表されるように歴史が古く、弁財
天山をはじめ、鞍谷川や河和田川など自然豊かな
どかな場所



【主な地区の資源】

三峯城跡 今北山古墳群・磯部古墳群・弁財天古墳群 など

地区の魅力

▶ あじさい

- ・「美まち北中山」を目指し、10年前から始まった「あじさい植栽1万本計画」。
- ・あじさいを活用した人々の交流やまちづくりに取り組んでいる。

▶ 三峯城跡

- ・三つの峯の合わさった城山の山頂部を中心につくられた山城。
- ・南北朝時代の城で、郭、腰郭、堀切、竪堀、土橋などの防御施設がある。
- ・鯖江市指定文化財。

▶ 弁財天古墳群

- ・弥生時代後期後半から古墳時代前期にかけて造営されたとみられ、47基の墳墓・古墳が確認。
- ・弁財天山頂上付近で弥生時代後期前半頃に築かれた二重の濠と複数の建物を持つ北陸地方最古級の高地性環濠集落が確認されている。

▶ 川島ごぼう

- ・鞍谷川流域の砂まじりの土地を生かして昭和初期から生産が始まる。
- ・生産者の減少の問題を抱えつつ、地元住民が中心となって復活を目指して生産に取り組んでいる。



三峯城跡



北中山地区のあじさい



市民アンケート

地区の良いところ！（上位項目）

- 第1位** 山や川などの自然が豊か（81.0%）
- 第2位** 自然災害や犯罪が少ない（33.3%）
- 第3位** 住宅地の環境が良い（23.8%）



タウンミーティングの主な意見

地区の宝や課題！

宝

- ・四方の山をはじめとした豊かな自然がある。
- ・あじさい1万本など、街が美しい。
- ・地域住民の強いつながり（支えあい）がある。
- ・三峯城跡、弁財天古墳、磯部古墳群の歴史資源がある。
- ・福井市、越前市、鯖江市内へのアクセスが良い。

課題

- ・人口が半減し、高齢者が多い。
- ・次世代の担い手が不足し、伝統行事の存続が心配。
- ・農業（米づくり）の継承が課題。
- ・山林が荒廃している。

地区の課題

▶ 人口減少・高齢化

- ・人口減少が大きく、高齢化が進展している地区の一つで令和5年の高齢化率は36.3%。
- ・令和5年には高齢者人口が減少に転じている。

▶ 防災

- ・山林の荒廃が進んでいる。
- ・河和田川の改修には時間を要するため、水害に備え防災意識を高める必要がある。

▶ 交通

- ・自動車による移動が主。
- ・つづじバスは、河和田線が平日15便、北中山・中河線が平日8便。乗降客数は、令和2年から増加傾向となっているが、コロナ禍前の令和元年までは戻っていない。



高齢化率の推移

魅力向上・課題解決に向けて

▶ まちづくりのキーワード

- ・地区コミュニティの充実
- ・自然資源、農業、田園環境の保全・活用
- ・あじさい、緑、ガーデニング
- ・交流人口、関係人口

▶ ターゲットプレイヤー

- ・アクティブシニア
- ・地域の子ども



北中山地区

河和田

【人口・世帯数 : R5.4.1 (H25からの増減)、高齢者数 : R5.4.1 (高齢化率)】
人口 3,769 人 (718 人減) 世帯数 1,329 世帯 (20 世帯増)
65 歳以上高齢者 1,522 人 (40.4%)
出生数 [R4] 11 人 (R3から 4 人減)

鯖江市の東部に位置し、自然が豊かで水が綺麗な場所に住み着くおしどりやホタルを見ることがある

1,500 年の歴史と伝統を有する越前漆器の産地



【主な地区の資源】

ラポーゼかわだ 中山公園 うるしの里会館 河和田神社本殿・敷山神社・漆器神社 など

地区の魅力

▶ 越前漆器

- ・約 1,500 年の歴史を持つ伝統工芸越前漆器の産地。業務用漆器では国内生産の約 8 割をシェアしている。
- ・越前漆器の作り手のグループによる「軒下工房」では、工房の一般公開や技術を指導する職人塾などを行っている。
- ・丹南地域で一同に開催されるオープンファクトリーイベント「RENEW」では、ものづくり工房で見学や体験ができる。

▶ うるしの里会館

- ・漆器の製造工程や歴史的資料、貴重な漆工芸品や季節にあわせた漆器、越前塗山車の展示。
- ・職人の指導のもとで絵付け、沈金、拭き漆の体験ができる。

▶ ラポーゼかわだ

- ・里山で温泉や BBQ、そば打ちやパン作り等の体験ができる。
- ・泉質は重曹泉と芒硝泉の 2 つの泉質を持つ日本でも数例しかない珍しい温泉。

▶ 食文化

- ・伝統菓味「山うに」や越前漆器の御膳料理など、地域ならではの食が楽しむことができる。
- ・生産者の減少の問題を抱えつつ、地元住民が中心となって復活を目指して生産に取り組んでいる。



越前漆器/うるしの里会館



RENEW



市民アンケート

地区の良いところ！（上位項目）

第1位	山や川などの自然が豊か	(77.3%)
第2位	住宅地の環境が良い	(36.4%)
第3位	地場産業が盛ん	(31.8%)



タウンミーティングの主な意見

地区の宝や課題！

宝

- ・ほたる、田園、素晴らしい自然がある。
- ・ラポーゼかわだ、中山公園、テニス場、体育館等がある。
- ・越前漆器の産地である。
- ・地域のつながり(地縁)が強い。
- ・若者たちの活動「RENEW」の拠点。

課題

- ・人口減少が著しい（10年毎に約1,000人減）
- ・買い物、ゴミ出しなどが難しい高齢者が増加している。
- ・今までの地域活動ができない。（担い手が超高齢化）
- ・コミバスだけでは不便、高校生の通学が困難。

地区の課題

▶ 人口減少・高齢化

- ・人口減少が大きく、高齢化が進展している地区の一つで令和5年の高齢化率は40.4%。

▶ 生活サービス

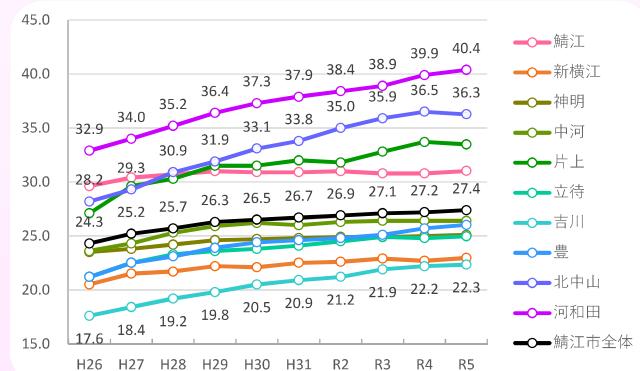
- ・地区的スーパーがなくなり、車を保有しない交通弱者には買い物が困難な状況である。

▶ 交通

- ・自動車による移動が主。
- ・つつじバス河和田線は平日15便。
- ・つつじバス河和田線の乗降客数は、令和4年は令和元年とほぼ同じ乗降客数まで戻ってきていたが、平成23年度の約半数に留まっている。

▶ 伝統産業

- ・漆器産業の後継者の育成。



高齢化率の推移

魅力向上・課題解決に向けて

▶ まちづくりのキーワード

- ・伝統産業、ものづくり、交流人口、関係人口（RENEW、さばえCross Art等）
- ・産業観光、感動体験

▶ ターゲットプレイヤー

- ・アクティブシニア
- ・地域産業の担い手・後継者
- ・来訪者、観光客、学生、若者
- ・移住者

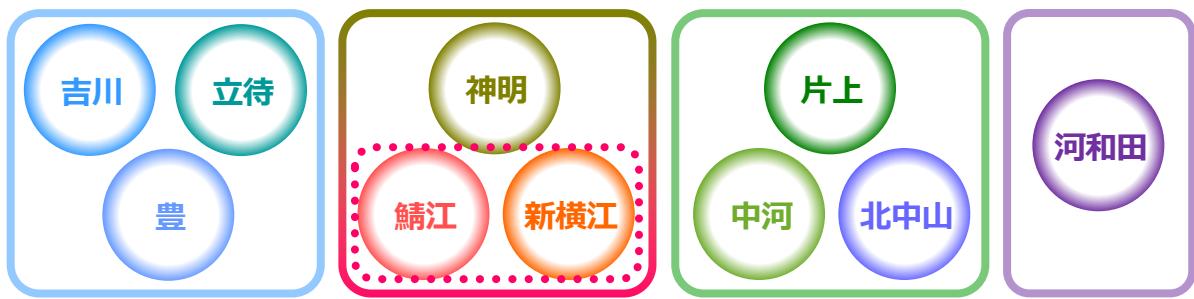


伝統工芸体験

4. 地域のまちづくりビジョン

地区ごとに**共通した課題と地区固有の課題**がある一方で、隣り合う複数の地区では、**同じ特徴を有する地区**が見られます。

同じ特徴を有する地区については、一つのエリアとして**エリアのまちづくりの方向性やビジョン**を共有し、地区固有の取組とともに、エリア内で連携したまちづくりの取組を進めていくことが重要です。



■鯖江市街地エリア(鯖江地区、新横江地区)

- 鯖江市街地は、市の魅力を牽引する公共施設や、これからの中陸新幹線や冠山峠道路開通等による広域交通の効果を最大限に活かし、**交流人口・関係人口の増加**、産業観光を含めた**観光誘客、移住定住の促進**など、**多様な交流やにぎわいづくり**が求められます。

■神明市街地エリア(神明地区)

- 神明市街地は、商業・業務、医療・福祉、レクリエーションなど、様々な都市機能の維持・充実、更なる集積を図り、**便利で快適な暮らし**の実現、**多様な交流やにぎわいづくり**など、今後も鯖江市街地エリアとともに市の中心的な役割を担っていくことが求められます。

■市街地東部エリア(中河地区、片上地区、北中山地区)

- 市街地東部エリアは、**恵まれた自然環境との共生**を基本に、**心地よく快適に暮らせる環境づくり**や、**地域の資源を活かした交流**など、**地域のにぎわいづくり**が求められます。

■日野川西部エリア(立待地区、吉川地区、豊地区)

- 日野川西部エリアは、**恵まれた自然環境や地域のコミュニティ**を大切にし、**自然や田園環境と調和**を図りながら、**安心して暮らせる環境づくり**が求められます。

■東部エリア(河和田地区)

- 越前漆器や周囲の自然を**固有の資源**として最大限に活かし、**産業観光をはじめとした交流人口・関係人口の増加、移住・定住の促進**を図り、**地域社会の維持**や**地域のにぎわいづくり**が求められています。

【共通の課題】

人口減少・高齢化、生活サービスの維持、地区固有の資源の活用については、地区の現状等により課題の捉え方に違いが見られますが、すべての地区において共通した課題となっています。

地域のまちづくりでは、これらの共通した課題の解決を目指し、持続可能な地域を創造していきます。

①人口減少・高齢化

市全体の人口が減少傾向に転じており、地区別に見ると、人口減少が顕著となっている地区や今後、人口減少が本格化する地区が見られます。また、年間の出生数が10人に及ばない地区や高齢化率が40%を超える地区もあり、地区的コミュニティを維持する点からも、人口減少・高齢化が地区の課題となっています。地区的活動や行事において、参加者の減少や担い手不足も課題となっています。

②生活サービスの維持

本市の都市構造としては、市域中央の鯖江地区・神明地区にJR北陸本線や福井鉄道福武線が縦断し、JR鯖江駅や福井鉄道福武線神明駅等から各地区を結ぶつづじバスが運行されています。また、地区においては、スーパーやドラッグストアなど、身近な買い物の場がなく、買い物が不便な地区も見られます。

現在は自動車による移動が中心となっていますが、今後の高齢化社会に伴い、移動や生活に不安を抱える高齢者が増加するおそれがあります。

③地区固有の資源の活用

各地区には、自然や景観、歴史、文化、ものづくり産業、交通施設や公共施設など、地区的アイデンティティとなる固有の資源があります。

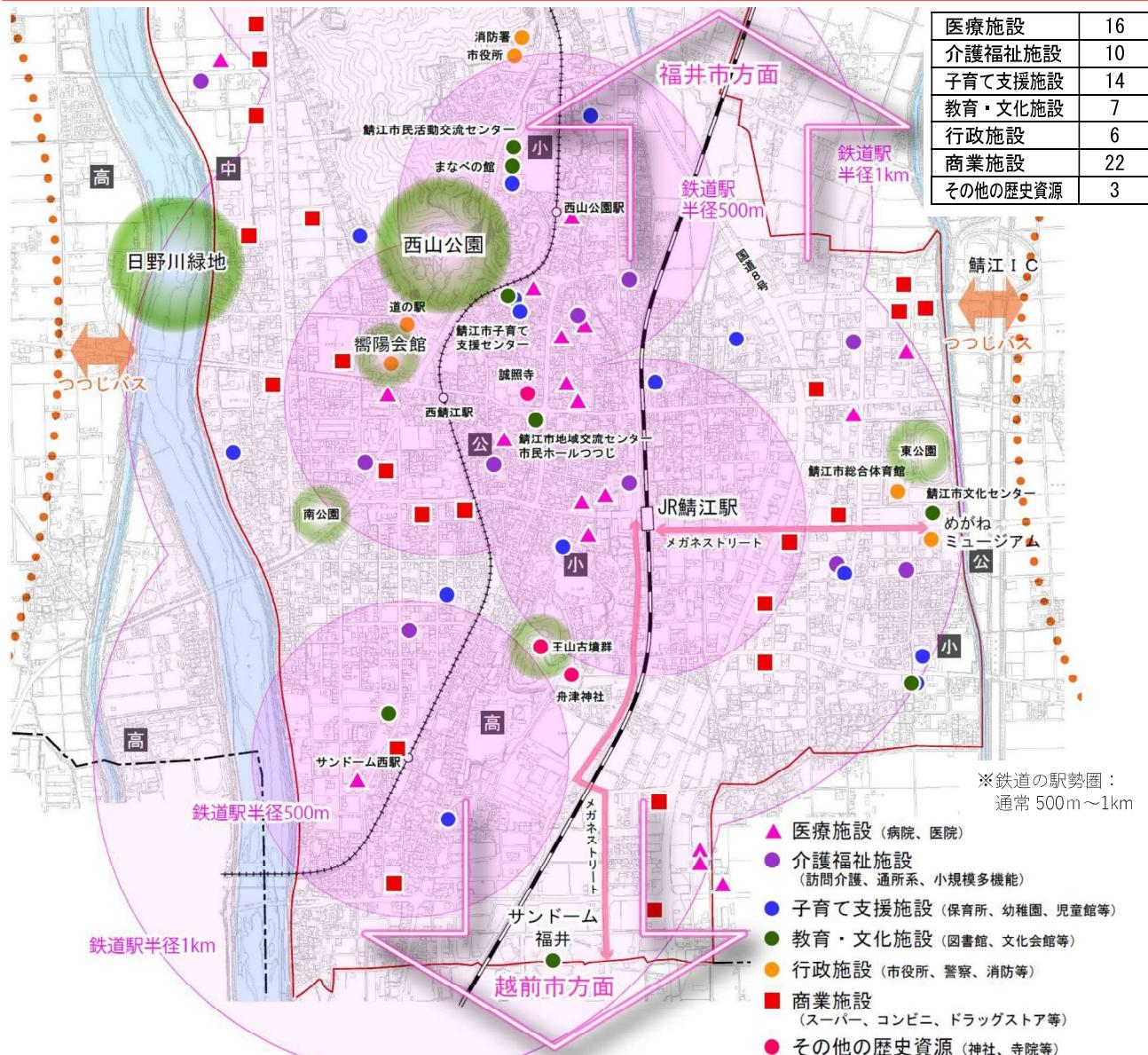
地区的魅力を高めていくためには、地区的資源・宝を見つめなおし、貴重な価値を再評価し、磨き、まちづくりの資源として活用していくことが大切です。各地区において魅力あるまちづくりが展開されることが、市全体の魅力や活力、にぎわいに繋がります。

鯖江市街地エリア

(鯖江地区・新横江地区)

ポイント

- JR鯖江駅や西山公園、公共施設や歴史資源、生活を支える多様な施設が数多く立地
- 北陸新幹線等の広域的な人の流れを活用して様々な交流を促し、にぎわいを創出
- 市の玄関口、中心市街地にふさわしい空間づくり、周辺エリアへの波及・繋がりを充実



ターゲットプレイヤー

- 事業主、不動産所有者
- 来訪者、観光客
- 学生、若者
- 子育て世帯
- アクティブシニアなど



予測される社会の変化

- 空き家・空き店舗活用
- MaaS
- ICT, IoT
- 6G, Web3 など



エリアの目指す姿

まち
×
デザイン

1. 様々な都市の機能が集積した 徒歩・自転車、公共交通が利用できるまち

- ▶ 鉄道駅でアクセスでき、医療施設や子育て支援施設、行政施設など、様々な機能が立地する強みが活かされ、未来をリードするクリエイティブな企業が立地するなど、さらに多くの都市機能が集積しています。
- ▶ 広域的な玄関口である JR 鮎江駅周辺は、まちの顔として、新たな店舗や働く場が増え、空き家や空き地が住まいとして活用されるなど、多くの人が住み、働き、市民や来訪者が交わるにぎわい空間となっています。
- ▶ 憇いの場などのサードプレイスが多く創られ、子育て世帯も含めて多くの人が集まっています。
- ▶ I C T 技術が導入され、つつじバスは市民の足として多くの人に活用され、北陸新幹線越前たけふ駅を結ぶ二次交通が便利になっています。
- ▶ 公共施設は、民間事業者との役割分担のもと、将来の人口規模に合わせた施設の維持・更新が進められています。

まち
×
ブランド

2. にぎわいと出会いの場・機会があるまち

- ▶ リニューアルした西山公園や嚮陽会館は、子どもから高齢者まで誰にとっても憩いの場となっており、JR 鮎江駅周辺にかけて、多くの人がまちなかを回遊し、市街地中心部全体がにぎわいを見せてています。
- ▶ 西山公園は、北陸新幹線を利用した観光客も見られるなど、多くの人が様々な交通手段で来訪し、AR アトラクションが人気となっています。
- ▶ メガネストリートの沿道はオシャレなカフェなどにぎわい、歩いて楽しい来訪者を迎える鯖江ならではのウォーカブルな空間となっています。
- ▶ 文化センターや東公園などは、多くの人に利用され、市民に愛され、シビックプライドを育む場所となっています。



まち
×
Well-being

3. 多様なアクティビティが育まれるまち

- ▶ 西山公園やサンドーム福井、めがねミュージアムなどの資源を活かして、学生や若者、高齢者など、様々な人たちによる鯖江ならではの魅力的なアクティビティが行われています。
- ▶ めがねフェスなどのづくり文化を活かしたイベントや、市民のウェルビーイングを高める多様な取組に、デジタル技術が上手に活用され、周辺エリアにも波及しています。

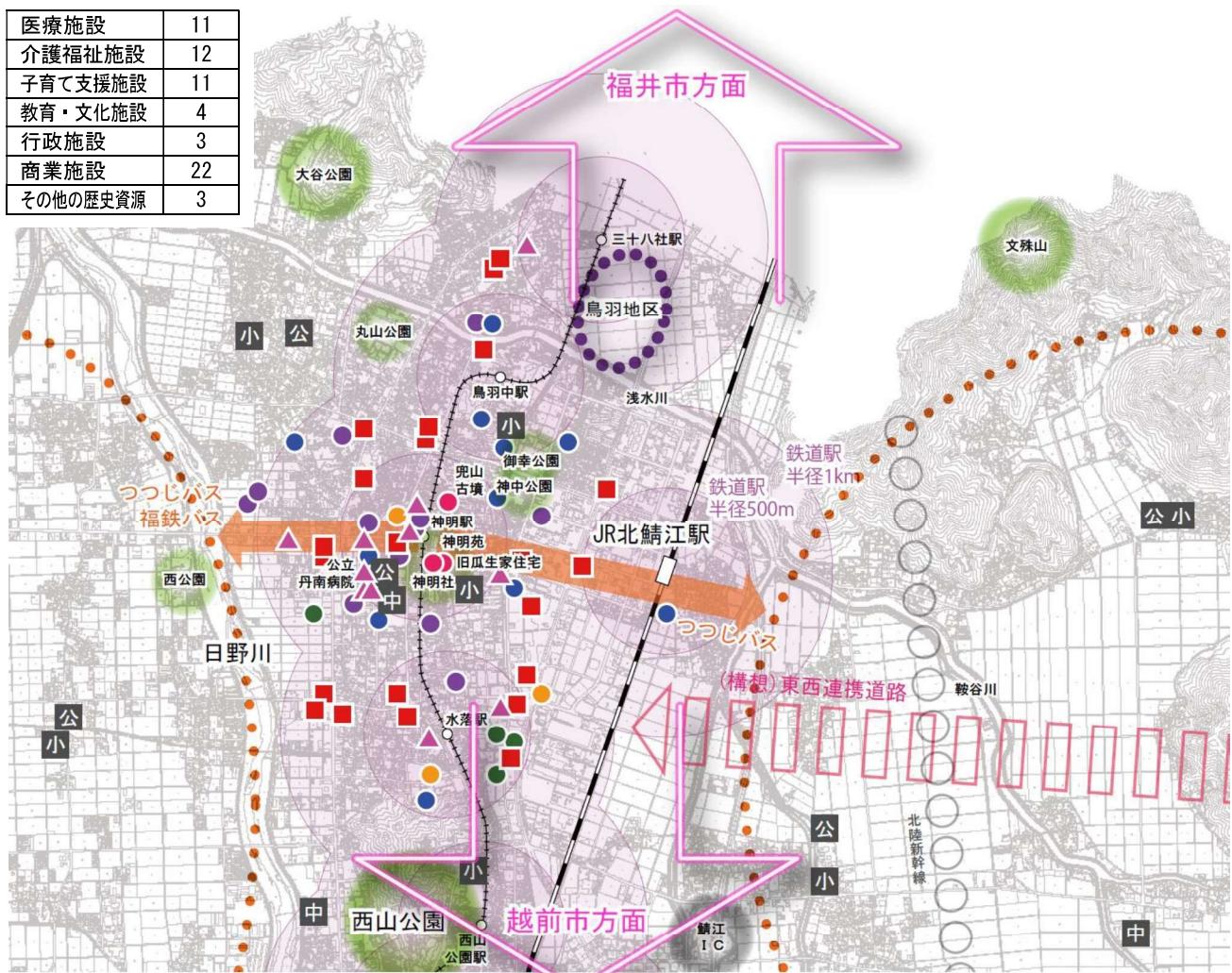


神明市街地エリア (神明地区)

ポイント

- 神明駅を中心として、公共施設や歴史資源、生活を支える多様な施設が数多く立地
- 様々な都市機能の集積や新たな計画的な土地利用により、多様な交流を促し、にぎわいを創出
- 鮎江市街地とともに、市の拠点にふさわしい空間づくり、周辺エリアへの波及・繋がりを充実

医療施設	11
介護福祉施設	12
子育て支援施設	11
教育・文化施設	4
行政施設	3
商業施設	22
その他の歴史資源	3



▲ 医療施設 (病院、医院)

● 子育て支援施設 (保育所、幼稚園、児童館等)

○ 行政施設 (市役所、警察、消防等)

● その他の歴史資源 (神社、寺院等)

● 介護福祉施設 (訪問介護、通所系、小規模多機能)

● 教育・文化施設 (図書館、文化会館等)

■ 商業施設 (スーパー、コンビニ、ドラッグストア等)

※鉄道の駅勢圏: 通常 500m~1km



ターゲットプレイヤー



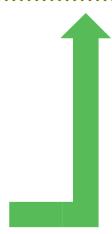
- ◇ 事業主、不動産所有者
- ◇ 子育て世帯
- ◇ 来訪者、若者
- ◇ アクティビシニアなど



予測される社会の変化



- ◇ 空き家、空き店舗活用
- ◇ MaaS
- ◇ ICT、IoT
- ◇ 6G、Web3
- ◇ 高度医療
- など



エリアの目指す姿

まち
×
デザイン

1. 医・食・住の機能が集積した 徒歩・自転車、公共交通が利用できるまち

- ▶ 神明駅周辺は、医療施設や子育て支援施設など、様々な都市の機能が立地している強みを活かして、にぎわいや交流などを育むさらに多くの都市機能が集積しています。
- ▶ 神明駅周辺は、神明市街地の中心として、新たな店舗や働く場が増え、空き家や空き地が住まいとして活用されるなど、多くの人が住み、働き、市民や来訪者が交わるにぎわい空間となっています。
- ▶ 憇いの場などのサードプレイスが多く創られ、子育て世帯も含めて多くの人が集まっています。
- ▶ 公立丹南病院は、先端技術が活用され、近隣住民など多くの人の医療サービスの拠点となっています。
- ▶ I C T 技術が導入され、鉄道やつつじバスが便利になり、福井鉄道福武線神明駅周辺は来訪者を含めた多くの人が利用しています。
- ▶ 公共施設は、民間事業者との役割分担のもと、将来の人口規模に合わせた施設の維持・更新が進められています。



まち
×
ブランド

2. 働き、学び、交わる場を創造するまち

- ▶ 神明苑や文化の館は、デジタル技術により機能充実が図られ、子どもから高齢者まで誰もが便利で快適に利用しています。
- ▶ 鳥羽地区では、国道8号線や三十八社駅の交通利便性を活かし、学び、働く場、商業、交流などの様々な機能が集積した計画的な土地利用が検討されています。
- ▶ 福井鉄道福武線神明駅周辺の多くの人にぎわうエリアを中心に、沿道の土地利用を含めて歩いて楽しいウォーカブルな空間となっています。



まち
×
Well-being

3. 地域の資源を活かしたまちづくりや 多様なアクティビティが育まれるまち

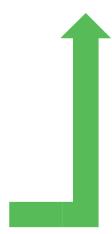
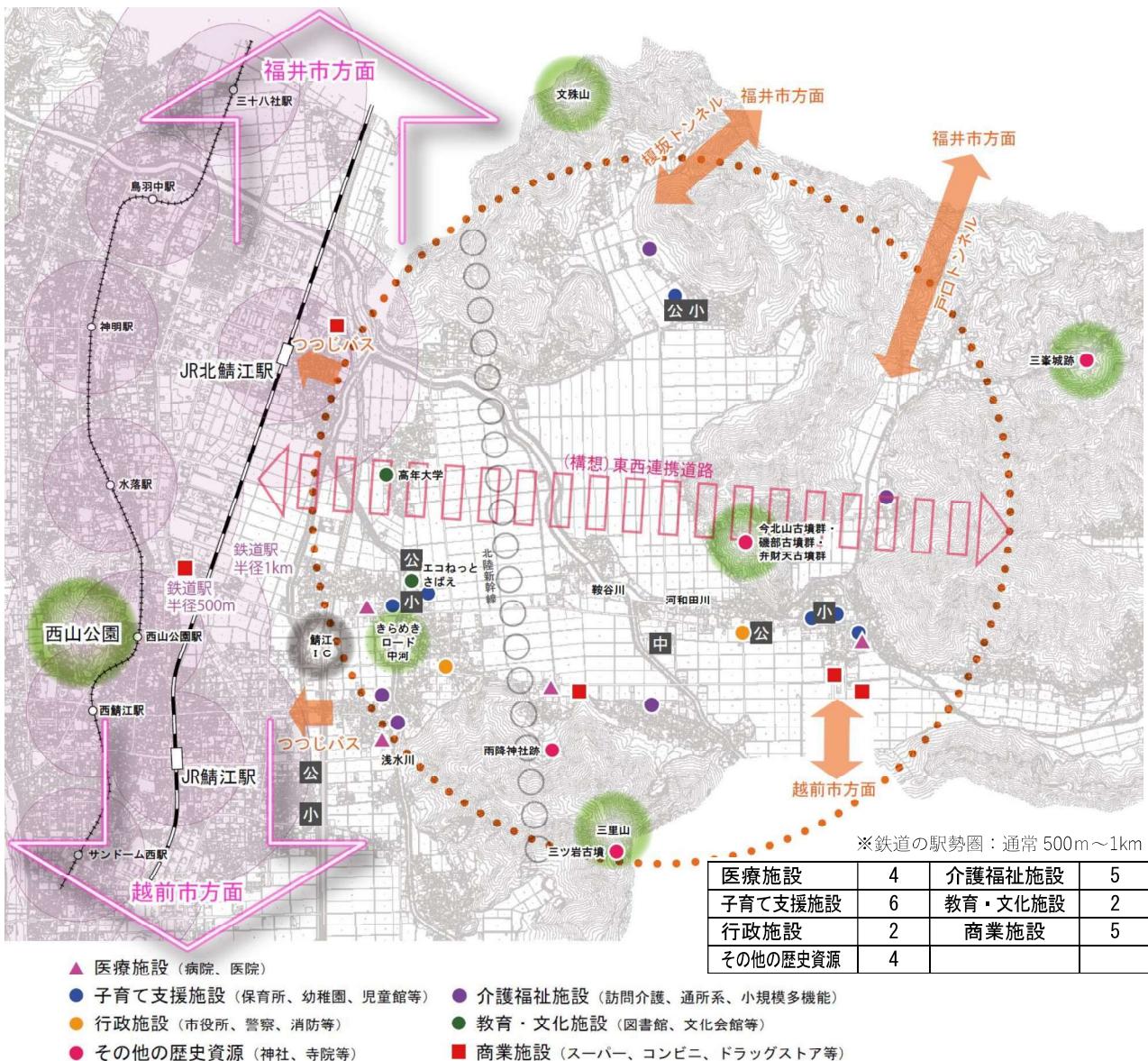
- ▶ 様々な主体が連携・協働しながら、神明社や兜山古墳などの歴史・文化資源を活かしたまちづくりの取組や、市民のウェルビーイングを高める多様な取組が見られます。

市街地東部エリア

(中河地区・片上地区・北中山地区)

ポイント

- 北陸本線や北陸自動車道の東側で、一団の農地をはじめとした身近に自然を感じられる環境
- 人口減少や高齢化、農業をはじめとした地域の担い手づくりへの取組が大きな課題
- 地域の資源を最大限に活かしつつ、様々な交流を促し、にぎわいや地域コミュニティの維持に貢献



エリアの目指す姿

まち
×
デザイン

1. 子どもたちが住み続けられる 身近な自然と共生した心地よい暮らしがあるまち

- ▶ 子ども世帯が空き家を活用し、親世帯の近くに移住したり、空き地が共同の駐車場になるなど、地域住民の便利で快適な日常生活のための資源として空き家や空き地が活用され、新たな子育て世帯が地域のコミュニティを盛り上げています。
- ▶ 地域コミュニティを維持していくため、デジタル技術を活用した自治会や地区のあり方、子育て世帯の住まい等の確保について、地域主体の取組が見られます。
- ▶ 文殊山、鞍谷川や河和田川、地域の中央の田園は、地域住民が身近に自然を感じる貴重な自然として、大切に維持・保全・活用されています。
- ▶ 鞍谷川や河和田川は、地域住民の安全・安心な暮らしを守るため、計画的な整備が進められています。
- ▶ 小学校や中学校と連携した環境学習や地域資源を活用した交流により、地域に関わる人が増え、身近な自然が維持されています。
- ▶ 移住者や農業の後継者が、ＩＣＴ技術を活用したスマート農業に取り組み、農業体験、地域ならではの魅力的なアクティビティを通じて、地域への移住者が増加しています。
- ▶ ＩＣＴ技術が導入され、つつじバスは多くの人に活用されています。

まち
×
ブランド

2. みんなが交わる地域資源のあるまち

- ▶ 文殊山や三里山、三峯城跡などは、地域主体の多様なまちづくり活動により、地域の拠点としての認知度が高まり、地域の貴重な交流資源として育まれています。
- ▶ きらめきロード中河や鯖江かたかみ春たんぼの取組が、新たな交流や地域のコミュニティを育む資源として、積極的に活用されています。



まち
×
Well-being

3. 地域の資源を守り活かして新たな交流をつくるまち

- ▶ きらめきロード中河や鯖江かたかみ春たんぼ、あじさいの植樹など、地域ならではの魅力的な活動を創出し、住民の交流を促すとともに、地域の子どもたちのふるさと愛を育む多様な取組が見られます。



市街地西部エリア

(立待地区・吉川地区・豊地区)

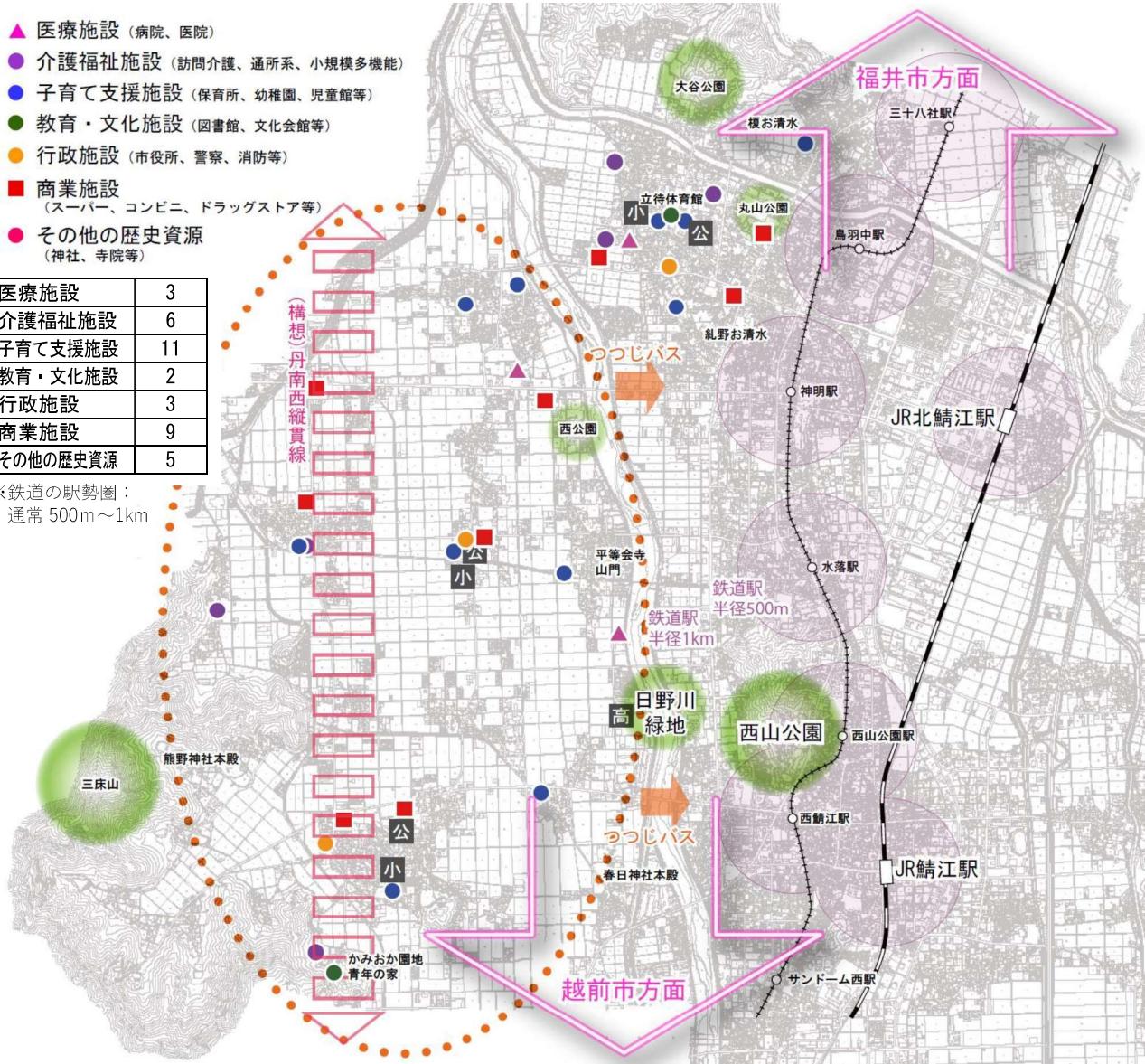
ポイント

- 市街地の北西部から日野川西側で、一団の農地の中で住宅地開発が点在
- 自然と居住環境の調和、農業の担い手の育成、子育て世帯の地域コミュニティへの参画等が課題
- 地域の資源を最大限に活かしつつ、様々な交流を促し、にぎわいや地域コミュニティの維持に貢献

- ▲ 医療施設（病院、医院）
- 介護福祉施設（訪問介護、通所系、小規模多機能）
- 子育て支援施設（保育所、幼稚園、児童館等）
- 教育・文化施設（図書館、文化会館等）
- 行政施設（市役所、警察、消防等）
- 商業施設（スーパー、コンビニ、ドラッグストア等）
- その他の歴史資源（神社、寺院等）

医療施設	3
介護福祉施設	6
子育て支援施設	11
教育・文化施設	2
行政施設	3
商業施設	9
その他の歴史資源	5

※鉄道の駅勢圏：
通常 500m～1km



エリアの目指す姿

まち
×
デザイン

1. 身近な自然と共生した、 便利で快適な暮らしがあるまち

- ▶ 三床山や日野川、地域の中央に広がる田園は、地域住民が身近に自然を感じる貴重な自然として、大切に維持・保全・活用されています。
- ▶ 特に、コウノトリに関連した環境学習など、自然を通じた多様な交流が行われ、自然環境を大切にする共感の輪が広がっています。
- ▶ 農業の後継者が、地域の米づくりや吉川ナスなどの特産の継承など、ICT技術を活用したスマート農業に取り組んでいます。
- ▶ 子ども世帯が親世帯の近くの空き家に移住したり、空き地が共同の駐車場になるなど、地域住民の便利で快適な日常生活のための資源として空き家や空き地が活用され、新たな子育て世帯が地域のコミュニティを盛り上げています。
- ▶ ICT技術が導入され、つつじバスは多くの人に活用されています。
- ▶ 立待地区では、建築物に関するルールづくりなどにより、地場産業である眼鏡等の生産環境と居住環境の調和が図られています。

まち
×
ブランド

2. みんなが交わる地域資源のあるまち

- ▶ 大谷公園をはじめ、三床山やかみおか園地は、地域主体の多様なまちづくり活動により、地域の拠点としての認知度が高まり、地域の貴重な交流資源として育まれています。
- ▶ 近松門左衛門や石田縞、青年の家などは、新たな交流や地域のコミュニティを育む資源として、積極的に活用されています。
- ▶ 日野川緑地の整備や西山公園とのネットワーク、広域的なサイクリングロードの整備などにより、地域住民から来訪者まで多くの人が交流する空間となっています。
- ▶ 眼鏡産業で培った技術で先端産業に進出し、新たな雇用が生まれることで、移住者が増加するなど、鯖江ブランドの価値が高まっています。



まち
×
Well-being

3. 地域のコミュニティを育み、みんなが繋がるまち

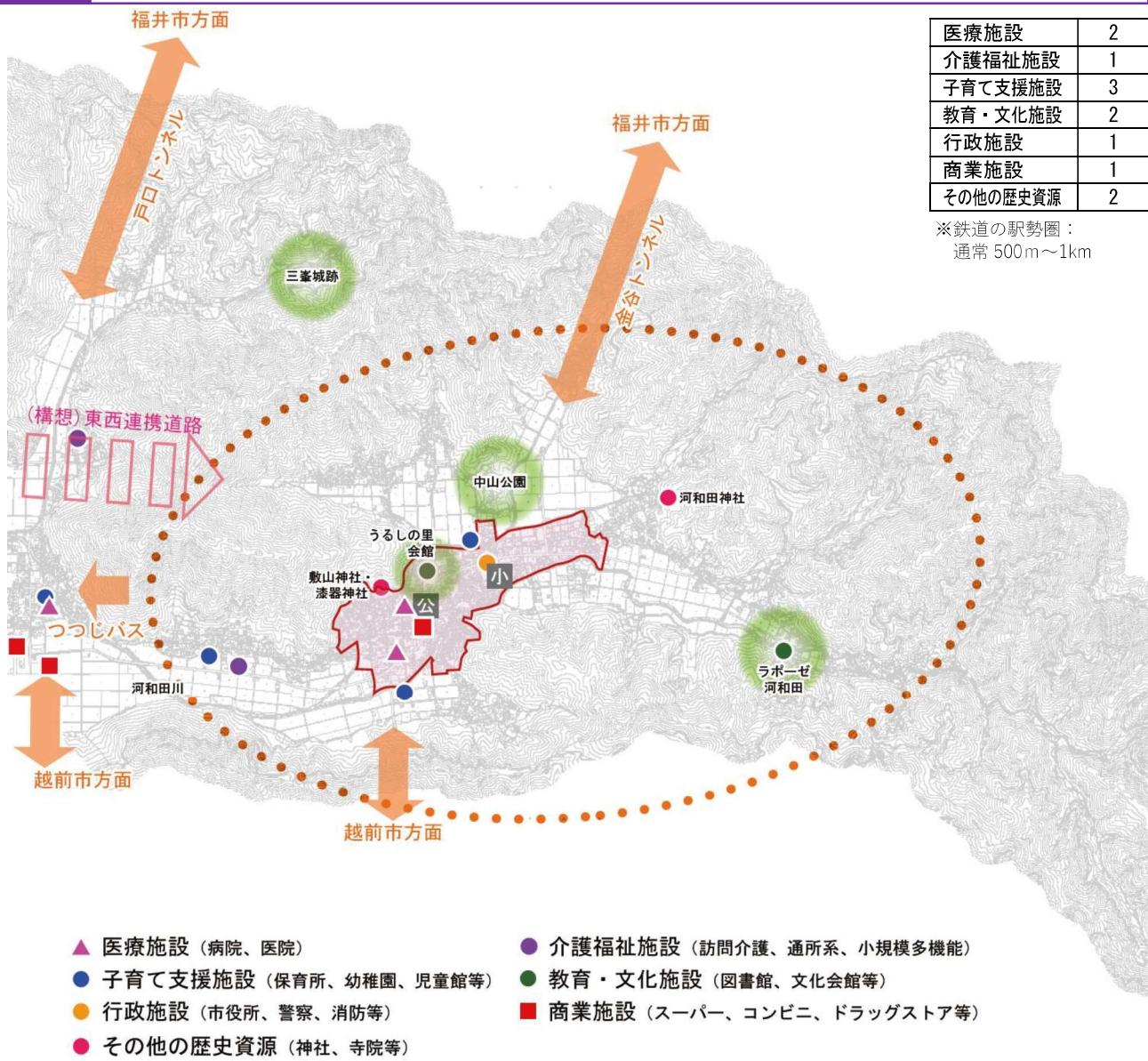
- ▶ デジタル技術が上手に活用され、大谷公園や地区公民館などにおいて、地域ならではの魅力的なアクティビティや、市民のウェルビーイングを高める多様な取組が見られます。
- ▶ 子育て活動や公民館活動などで育まれたコミュニティが充実し、地域を盛り上げています。



東部エリア (河和田地区)

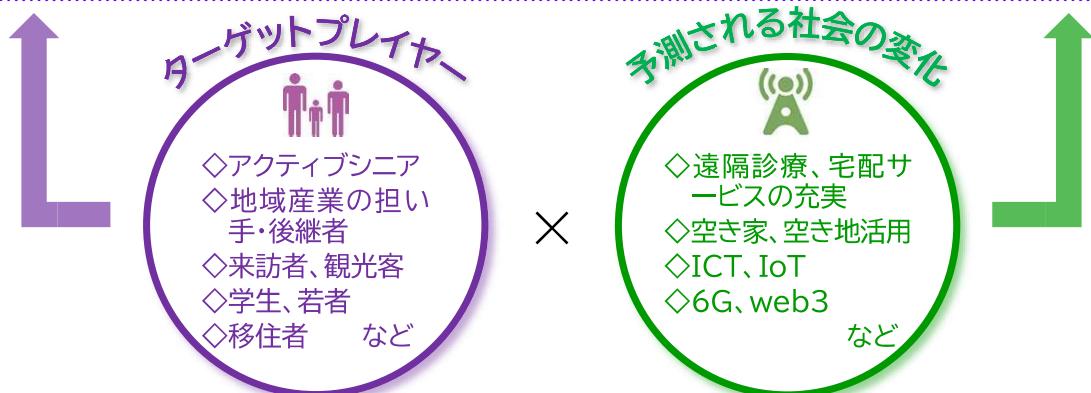
ポイント

- 市街地の東部に位置し、周りを山々に囲まれ、自然と共生した環境
- 越前漆器の産地であり、人口減少や高齢化、産業の担い手づくりへの取組が大きな課題
- 越前漆器などの資源を活かした様々な交流を促し、にぎわいや地域コミュニティの維持に貢献



- ▲ 医療施設（病院、医院）
- 子育て支援施設（保育所、幼稚園、児童館等）
- 行政施設（市役所、警察、消防等）
- その他の歴史資源（神社、寺院等）

- 介護福祉施設（訪問介護、通所系、小規模多機能）
- 教育・文化施設（図書館、文化会館等）
- 商業施設（スーパー、コンビニ、ドラッグストア等）



エリアの目指す姿

まち
×
デザイン

1. 身近に自然を感じ、安心して快適に暮らせるまち

- ▶ 地域を取り囲む山並みや河和田川、田園は、地域住民の豊かな生活を支える自然環境として、住民の方々や河和田のファンなど多様な主体が関わり、大切に維持・保全・活用されています。
- ▶ 特に、ゲンジボタルやオシドリが生息する環境が大切に維持され、将来に継承していくよう広く情報発信され、共感の輪が広がっています。
- ▶ I C T 技術等を活用した地域の高齢者など、移動に不安を抱える住民の方々の遠隔診療や日用品の宅配サービスの充実等により、高齢者が安心して元気に暮らせる環境づくりが進んでいます。
- ▶ 子ども世帯が親世帯の近くの空き家に移住したり、空き地が共同の駐車場になるなど、地域住民の便利で快適な日常生活のための資源として空き家や空き地が活用されています。
- ▶ I C T 技術が導入され、つつじバスは多くの人に活用されています。
- ▶ 新たな農業の担い手が、I C T 技術を活用し、農業を継承しています。



まち
×
ブランド

2. 漆器や眼鏡の産業を未来につなぐまち

- ▶ デジタル化やグローバル化の流れを最大限に活用し、世界レベルでの販路開拓や技術力のP Rなどにより、漆器や眼鏡産業が発展的に継承されています。
- ▶ 地域産業の後継者や担い手が、世界の伝統産業の産地や多様な主体と繋がり、地域産業の継承に波及効果を及ぼす魅力的な取組が見られます。
- ▶ 建築物に関するルールづくりなどにより、地場産業である漆器等の生産環境と居住環境の調和が図られています。

まち
×
Well-
being

3. 多様な交流でにぎわいをつくるまち

- ▶ 北陸新幹線の開業や冠山峠道路の開通、デジタル技術の進展を最大限に活かし、産業観光など地域の産業を大切にした河和田ならではの魅力的な交流が育まれています。
- ▶ RENEWは、学生や若者、世界中の多くの方が参画する一大イベントとなり、移住のきっかけになるなど、地域がにぎわっています。
- ▶ 新金谷トンネルによる一乗谷地域との連携など、都市基盤整備に合わせた新たな交流が育まれています。



